

ビジネスとテクノロジーのリーダーとユーザーが会い、
マーケットスタンダードが生まれる、

最先端ICTテクノロジーイベント

INTEROP®

TOKYO | 12-14 JUNE, 2013



CONFERENCE PROGRAM GUIDE

コンファレンス プログラムガイド

“More Clouds,
More Ways,
More Innovations”

会期 / 6月11日(火) ~ 6月14日(金)

※展示会は12日(水)~14日(金)

会場 / 幕張メッセ

主催 / Interop Tokyo 2013 実行委員会

運営 / 一般財団法人インターネット協会 / 株式会社 ナノオプト・メディア

ネットワークとITの今をひもとく全48セッション

有料コンファレンス参加料金(税込)

お申込パッケージ	記号	当日価格(税込)
ワークショップ(1日間コース)	NW	¥45,000
ハンズオン(1日間コース)	NH	¥65,000
コンファレンス	1日間 ※1日の間NC、SDを1セッション以上	NC ¥40,000
	3日間 ※3日の間NC、SDを各日1セッション以上	SD ¥80,000
ShowNetテクニカルツアー&セッション ※NSTを1つ(NST-01とNST-02は同じ内容です)	NST	¥10,000
スペシャルパッケージ ※各セッションの組み合わせでさらにお得です!		当日価格(税込)
フルコンファレンスパッケージ (いずれのセッションも登録可能)		¥140,000

会場アクセス



【ご注意】

上記お申込項目および各種パッケージ料金は、同一の方のご利用を前提としています。

同一時間帯のセッションを受講することはできません。

1枚の受講証内に受講セッションを全て記載してお渡しの形となり、複数枚で分割してのご利用は出来ませんので予めご了承ください。

会場にてご本人確認を行わせていただく場合がございますのでご了承ください。

<http://www.interop.jp/>

コンファレンスガイド

情報システム、ネットワークに携わる 技術者・運用管理者のためのプログラム!

▶ **6月11日(火)** 聴講 有料 Webからの事前登録制

NW-01 / 10:00 - 17:00 ROOM-301 スマートグリッドからスマートシティへ モデレータ 西 宏章 / 慶應義塾大学 スピーカー 勝又 淳旺 / 東光電気株式会社 合田 忠弘 / 同志社大学 鈴木 高宏 / 東京大学 望月 洋介 / 日経BP 日経BPクリーンテック研究所	NW-02 / 10:00 - 17:00 ROOM-302 Enterprise ネットワーク構築ガイド ～ 部署単位から企業レベルまで; ネットワーク構築の道しるべ～ モデレータ 宮永 直樹 / 日本電気株式会社 スピーカー 大江 将史 / 大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台 山城 重成 / 株式会社ラック 寺澤 知昭 / トヨタ自動車株式会社 手塚 信之 / SCSK株式会社 嶋田 健久 / 日本電気株式会社	NW-03 / 10:00 - 17:00 ROOM-303 データセンターネットワーク まるわかり ～ゼロから学べる! データセンターネットワーク～ モデレータ 西牧 哲也 / ヤフー株式会社 スピーカー 花山 寛 / ネットワンシステムズ株式会社 松本 拓也 / ヤフー株式会社 福智 道一 / BBIX株式会社 福田 克 / 日商エレクトロニクス株式会社 福田 知夫 / 日本電気株式会社 林 眞樹 / 株式会社IDCフロンティア
---	--	--

NH-01 / 10:00 - 17:00 ROOM-201A Northbound APIによるSDN/仮想ネットワーク構築講座 モデレータ 浅羽 登志也 / 株式会社ストラトスフィア インストラクタ 石黒 邦宏 / 株式会社ストラトスフィア 白崎 博生 / 株式会社ストラトスフィア	NH-02 / 10:00 - 17:00 ROOM-104 もうリセットで解決しない ～さくらインターネット田中社長と深く詳しく Linuxサーバの障害対応を学ぶ1日～ インストラクタ 田中 邦裕 / さくらインターネット株式会社
---	---

(敬称略)

▶ **6月12日(水)** 聴講 有料 Webからの事前登録制 🔊 逐次通訳(English Speaker) 英語での講演には、逐次通訳をご用意します

NH-03 / 10:00 - 17:00 ROOM-103 IPv6ネットワーク基礎編 ～AlaxalA編～ インストラクタ 高津 智明 / アラクサラネットワークス株式会社 / IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース ティーチングアシスタント 澁谷 晃 / 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

NC-02 / 12:50 - 14:20 ROOM-302 パブリッククラウドと プライベートクラウドの使い分け方 チェア 三宅 功 / エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社 スピーカー 関 洋介 / エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社 澤 円 / 日本マイクロソフト株式会社	NC-03 / 12:50 - 14:20 ROOM-303 急速に成長する アジアインターネットビジネス最前線 チェア 石井 秀雄 / PACNET Global Singapore PTE LTD. スピーカー Kanchana Kanchanasut / AIT 古田 敬 / エクイニクス・ジャパン株式会社 田村 俊之 / KDDI株式会社	NC-04 / 12:50 - 14:20 ROOM-304 クラウドビジネスの最前線と今後 チェア 伊勢 幸一 / 株式会社データホテル スピーカー 横田 真俊 / さくらインターネット株式会社 山口 亮介 / ニフティ株式会社
--	--	---

NC-05 / 14:40 - 16:10 ROOM-301 主役に聞くHEMSの未来 チェア 西 宏章 / 慶應義塾大学 スピーカー 藤田 美行 / パナソニック株式会社 エコソリューションズ社 望月 昌二 / 三菱電機株式会社 有馬 仁志 / dSPACE Japan 株式会社	NC-06 / 14:40 - 16:10 ROOM-302 どうする?どうなる? SDN/クラウド時代の運用管理 チェア 野村 祐士 / 株式会社富士通研究所 スピーカー 山田 修司 / さくらインターネット株式会社 鈴木 逸平 / RightScale Inc. 今林 徹 / 富士通株式会社	NC-07 / 14:40 - 16:10 ROOM-303 ルーティング最新動向 チェア 吉田 友哉 / インターネットマルチフィールド株式会社 スピーカー 河野 美也 / シスコシステムズ合同会社 松崎 吉伸 / 株式会社インターネットイニシアティブ 長瀬 信彦 / ジュニパーネットワークス株式会社	NC-08 / 14:40 - 16:10 ROOM-304 プライバシーとIDマネジメント チェア クロサカ タツヤ / 株式会社企 スピーカー 崎村 夏彦 / OpenID Foundation/ Kantara Initiative/ 株式会社野村総合研究所 高橋 克巳 / NTTセキュアプラットフォーム研究所 楠 正憲 / ヤフー株式会社
---	--	---	---

NC-09 / 16:30 - 18:00 ROOM-301 直流給電から始まる データセンター電力マネジメント チェア 三宅 功 / エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社 スピーカー 中平 浩二 / 株式会社村田製作所 村 文夫 / エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社 藤井 康平 / 日本アイ・ビー・エム株式会社	NC-10 / 16:30 - 18:00 ROOM-302 SDNフェデレーションの 実践的活用技術 チェア 伊勢 幸一 / 株式会社データホテル スピーカー 高添 修 / 日本マイクロソフト株式会社 小松 康二 / ヴィエムウェア株式会社	NC-11 / 16:30 - 18:00 ROOM-303 アナリストが見たネット産業の現状 チェア クロサカ タツヤ / 株式会社企 スピーカー 武田 純人 / UBS証券株式会社	SD-01 / 16:30 - 18:00 ROOM-304 スマートデバイス 企業内徹底活用術 2013 チェア 砂原 秀樹 / 慶應義塾大学大学院 スピーカー 原田 圭悟 / KDDI株式会社 松木 彰 / 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 中山 五輪男 / ソフトバンクモバイル株式会社
---	--	---	--

NST-01 / 18:00 - 20:00 ROOM-303 ShowNetテクニカルツアー & セッション(1) スピーカー ShowNet NOCチームメンバー
--

(敬称略)

ここでしか“聴けない”、ここでしか“体験できない”キーテクノロジーを網羅した48セッション。

6月13日(木) 聴講 有料 Webからの事前登録制

NH-04 / 10:00 - 17:00 ROOM-103
IPv6ネットワーク基礎編～サーバ編～
インストラクタ 國武 功一 / 株式会社ビーコンエヌシー
ティーチングアシスタント 澁谷 晃 / 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

NH-05 / 10:00 - 17:00 ROOM-104
仮想ルータVyattaを使ったネットワーク構築法!
モデレータ 近藤 邦昭 / 株式会社まほろば工房
インストラクタ 伊藤 哲史 / 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
浅間 正和 / 日本Vyattaユーザー会 / 有限会社 銀座堂

NC-12 / 12:50 - 14:20 ROOM-301
トヨタが考える事業継続計画
チェア 野村 祐士 / 株式会社富士通研究所
スピーカー 伊藤 毅 / 株式会社富士通総研
近藤 元博 / トヨタ自動車株式会社

NC-13 / 12:50 - 14:20 ROOM-302
DNS Hot Topics
チェア 松崎 吉伸 / 株式会社インターネットイニシアティブ
スピーカー 西岡 孟明 / NTTコム ソリューション & エンジニアリング株式会社
竹田 茂馬 / 楽天株式会社

NC-14 / 12:50 - 14:20 ROOM-303
ビックデータの利活用の実際
チェア 砂原 秀樹 / 慶應義塾大学大学院
スピーカー 小関 基裕 / ヤフー株式会社
當仲 寛哲 / 有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所

NC-16 / 12:50 - 14:20 ROOM-304
DevOpsとアジャイルで変わるインフラの現場
スピーカー 吉野 宗孝 / NECビッグロブ株式会社
土屋 太二 / NECビッグロブ株式会社

NC-15 / 14:40 - 16:10 ROOM-301
サーバにおけるSSD利用の実情と課題
チェア 中澤 道治 / さくらインターネット株式会社
スピーカー 渡辺 隆志 / 株式会社エクスィ
吉田 見典 / ミツバチワークス株式会社

SD-02 / 14:40 - 16:10 ROOM-302
進化するBYOD/MDM、ワークプレISMAM
チェア 木下 剛 / シスコシステムズ合同会社
スピーカー 小玉 博和 / 株式会社アイキューブシステムズ
北村 裕司 / サイバートラスト株式会社
柳下 幹生 / モバイルアイアン インク

NC-17 / 14:40 - 16:10 ROOM-303
APTに対する情報共有と法の役割
スピーカー 高橋 郁夫 / BLT法律事務所

NC-18 / 14:40 - 16:10 ROOM-304
インターネットトラフィック最新動向
チェア 永見 健一 / 株式会社インテック
スピーカー 熊木 健二 / KDDI株式会社
人見 高史 / シスコシステムズ合同会社
福田 健介 / 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所
福田 健平 / エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

NC-01 / 14:40 - 16:10 ROOM-105
ITSが先導する次世代のビックデータインベション
チェア 砂原 秀樹 / 慶應義塾大学大学院
スピーカー 天野 肇 / 特定非営利活動法人 ITS Japan
佐藤 雅明 / Interactive and Digital Media Institute (IDM) National University of Singapore

NC-20 / 16:30 - 18:00 ROOM-302
イサネット・ファブリック 2013 ~OpenFlowって必要?~
チェア 本林 良太 / 日本電気株式会社
スピーカー 及川 尚 / シスコシステムズ合同会社
小宮 崇博 / ブロケード コミュニケーションズ システムズ株式会社
瀧川 慎一 / ジュニパーネットワークス株式会社

NC-21 / 16:30 - 18:00 ROOM-303
こうしてセキュリティ事故は発生する ~Hardening プロジェクトで明らかにになった運用の盲点~
スピーカー 岡田 良太郎 / 株式会社テックスタイル
川口 洋 / 株式会社ラック
中西 克彦 / NECネットワークソリューションズ株式会社

SD-03 / 16:30 - 18:00 ROOM-304
モバイルトラフィックの最新状況と対策
チェア 永見 健一 / 株式会社インテック
スピーカー 熊木 健二 / KDDI株式会社
福田 健介 / 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所
北條 博史 / エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社

NC-19 / 16:30 - 18:00 ROOM-301
データセンターにおけるSSDの現状と未来
チェア 田中 邦裕 / さくらインターネット株式会社
スピーカー 田口 崇治 / インテル株式会社
長谷川 猛 / フュージョン・アイオー株式会社
百富 正樹 / 株式会社東芝 セミコンダクター & ストレージ社

NST-02 / 18:00 - 20:00 ROOM-303
ShowNetテクニカルツアー & セッション(2)
スピーカー ShowNet NOCチームメンバー

6月14日(金) 聴講 有料 Webからの事前登録制

NH-06 / 10:00 - 17:00 ROOM-103
IPv6ネットワーク基礎編～Cisco編～
インストラクタ 服部 亜紀子 / シスコシステムズ合同会社
ティーチングアシスタント 澁谷 晃 / 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

NH-07 / 10:00 - 17:00 ROOM-104
CloudPlatform構築・運用講座
モデレータ 横田 元 / 日商エレクトロニクス株式会社
インストラクタ 山口 康幸 / 日商エレクトロニクス株式会社
島崎 聡史 / シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
北瀬 公彦 / シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社

NC-22 / 10:20 - 11:50 ROOM-301
ファブリック対決、TRILL vs SPB
チェア 伊勢 幸一 / 株式会社データホテル
スピーカー 小宮 崇博 / ブロケード コミュニケーションズ システムズ株式会社
服部 健一 / 日本アパリア株式会社

NC-23 / 10:20 - 11:50 ROOM-302
データセンター事業者のIPv4枯渇がヤバ過ぎる点について ~1アドレス幾らで買いますか?~
コーディネーター 仲西 亮子 / 三井情報株式会社
白畑 真 / 慶應義塾大学
チェア 近藤 邦昭 / 株式会社まほろば工房
スピーカー 白畑 真 / 慶應義塾大学
三上 出 / 株式会社メディアアウォーズ
水野 稔晴 / 中部テレコミュニケーション株式会社

NC-24 / 10:20 - 11:50 ROOM-303
ネットワークからみた制御システムセキュリティ
スピーカー 小林 和真 / 倉敷芸術科学大学
村瀬 一郎 / 技術研究組合制御システムセキュリティセンター 株式会社三菱総合研究所

NC-25 / 10:20 - 11:50 ROOM-304
帯域を使いまくる:ネットワークボトルネックの解消 (1)データセンター編
チェア 大江 将史 / 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構国立天文台
スピーカー 早川 洋一 / Chelsio株式会社
津村 英樹 / メラノックス テクノロジー ジャパン株式会社
兵頭 弘一 / アリスタネットワークスジャパン合同会社

NC-26 / 12:50 - 14:20 ROOM-301
成功するSDN導入のポイント
スピーカー 伊勢 幸一 / 株式会社データホテル
浅羽 登志也 / 株式会社ストラトスフィア

NC-27 / 12:50 - 14:20 ROOM-302
マルチデバイス・マルチストレージ時代のセキュリティ
スピーカー 高橋 正和 / 日本マイクロソフト株式会社

NC-28 / 12:50 - 14:20 ROOM-303
業界TOP3のデスクトップ仮想化 (VDI)、その一歩先へ
チェア 榎本 瑞樹 / 日商エレクトロニクス株式会社
スピーカー 高添 修 / 日本マイクロソフト株式会社
竹内 裕治 / シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
飯島 徹 / ヴァイエムウェア株式会社

NC-29 / 12:50 - 14:20 ROOM-304
帯域を使いまくる:ネットワークボトルネックの解消 (2)WAN編
チェア 大江 将史 / 大学共同利用機関法人 自然科学研究機構国立天文台
スピーカー 水原 隆道 / 株式会社クリアリンクテクノロジ
寺前 滋人 / リバーベッドテクノロジ株式会社
小林 岳夫 / ブルーコートシステムズ合同会社

NC-30 / 14:40 - 16:10 ROOM-301
何が違う? ネットワーク仮想化技術: L3 NWへのオーバーレイ方式
チェア 早川 浩平 / シスコシステムズ合同会社
スピーカー 高添 修 / 日本マイクロソフト株式会社
進藤 貴訓 / ヴァイエムウェア株式会社
中本 滋之 / シスコシステムズ合同会社

NC-31 / 14:40 - 16:10 ROOM-302
IPv6 Hot Topics 2013
チェア 江崎 浩 / 東京大学大学院
スピーカー 中村 修 / 慶應義塾大学
鶴 昭博 / KDDI株式会社
天田 賢 / A10ネットワークス株式会社

NC-32 / 14:40 - 16:10 ROOM-303
新政権の通信政策
チェア クロサカ タツヤ / 株式会社企
スピーカー 橋本 岳 / 衆議院議員・自民党 (予定)
村井 純 / 慶應義塾大学
谷藤 康彦 / 総務省
三又 裕生 / 経済産業省

NC-33 / 14:40 - 16:10 ROOM-304
クラウドの高信頼化にむけた運用・標準化・監査の現状
スピーカー 永宮 直史 / 特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会
佳山 こうせつ / 富士通株式会社
河野 省二 / 株式会社ティアアイティ

江崎 浩

Dr. Hiroshi Esaki

Interop Tokyo 2013 プログラム委員会議長
東京大学大学院
情報理工学系研究科 教授



プログラム委員会議長からのご挨拶

2013年は、安部総理大臣率いる自由民主党への政権交代で幕を開けました。その大きな方向性は、(1)成長戦略、(2) グローバル展開、そして、(3) 持続的イノベーションの実現にあるように思われます。また、政権交代に伴い、IT戦略本部の再起動が行われ、再び、ITを用いた社会イノベーションと社会・産業の活性化を目指した政策・施策が期待されます。

20回目を迎えるInterop Tokyoは、1994年にスタートし、インターネット関連産業のビジネスの最前線のショールームとしての役割を果たしてきました。Interop Tokyoがスタートした1990年代は、有線を用いたシステムであり、また、電話会社とメインフレームベンダーがサービスを提供するベンダー・プロバイダ主導だったシステムを、ユーザ主導型に変革するイノベーションが進行した時期でした。その後、携帯電話の普及やWEBサービスの展開は、インターネットを、ユーザ主導からプロバイダ主導型へと変化させました。この傾向は、2006年~2007年にかけて登場した、スティーブジョブスが率いるアップル社が市場投入した iPhone と、アマゾン社が市場投入した AWS(Amazon Web Service)を契機に激変を遂げました。クラウド革命とスマートフォン革命です。この2つの革命は、2000年代前半のプロバイダ主導型のインターネット市場を、再び「ユーザ主導」へと変化させました。1990年代後半に第1次データセンターブームが起こり、現在、第2次データセンターブームが起こっていることは、ユーザ主導型のインターネットシステムのビジネス構造が進展しているということと、興味深い共通点を持っているように見えます。「ユーザ主導」のビ

ジネスモデルにおいては、プロバイダ側が考えるある意味「堅い」ビジネスではなく、多様でユニークなビジネスのアイデアが、市場で試され、成功し急成長を遂げる事例が多数出てきます。2013年の今は、まさに、そのような時期にあるように思えます。すなわち、More Ways (たくさんの選択肢と可能性) として、More Innovations (たくさんの革新的アイデア) が、市場で試される時代にあるのではないのでしょうか。クラウドコンピューティングの進化と深化、モバイル端末のインターネット化は、サービス提供に必要なハードウェアの制約を劇的に削減することに成功し、既に、スマートフォンとサーバのハードウェアに依存しない仮想的なハードウェアを自由に変化させることを可能にしつつあります。このような動きは、ある意味、マイクロソフト社などが独占していたPDA市場に、Google社が開発したAndroid OSが市場を獲得し、さらに、最近のFirefox OS と Tizen OS の登場に象徴されていますし、BYOD(Bring Your Own Device)への注目にも象徴されているでしょう。これは、ちょうど、UNIX とマイクロソフトWindows が、ハードウェアに依存しないOSとして、登場したことによって、それまでの、ベンダー・プロバイダ型の市場が、ユーザ主導の市場へと変化したことと同じ現象なのでしょう。その結果、急激に、一般ユーザのコミュニケーションの形態が、マルチスクリーン化とユニファイドコミュニケーション化しています。今回のInterop Tokyoにて、基調講演を行うSir Timothy John Berners-Lee氏は、インターネットの初期に、HTMLを用いたWebによるユーザ主導型のコンテンツ提供・アクセスシステムを

発明し、最近では、W3Cで研究開発と標準化が進められているHTML5によって、再び、ユーザ主導型のシステムへの変革を主導しようとしています。

さて、ベンダー・プロバイダ型のビジネス構造が、ユーザ主導型のビジネス構造への変革するにともなって、インターネット産業だけではなく、エネルギー産業にも起こりつつあります。このトリガーとなったのは、「グリーンIT」であり、これを、加速させたのが、「第2次データセンターブーム」に思えます。データセンターは、大量の電力を必要とするために、特に海外では、電力会社なみの大規模な発電設備を持ったデータセンターの構築も行われています。これは、データセンターが、エネルギーの消費側から供給側へ変化する可能性を持つこと示しています。さらに、データセンターで注目され研究開発と実導入が加速している直流給電技術は、一般の事業所や住宅への導入の可能性も十分に持っています。

インターネットが、2回目のユーザ主導型市場を形成しつつあり、そのビジネス領域は、これまでの人と人とを結ぶインターネットから、電力システムや工場など、クリティカルシステムを含むすべての社会基盤に存在する「モノ」を相互接続するものへと変化しつつあります。その結果、これまで以上に、頑丈なセキュリティー機能を持ったシステムの構築が必須となります。Interop Tokyoに参加される皆様には、この機会を最大限に活用していただき、最先端のICT技術の動向と現状を把握し、次のインターネット革命を生き抜くに資する、叡智を発見・体験する契機としてご利用いただければ幸いです。

Interop Tokyo 2013 プログラム委員会

議長

江崎 浩 東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授

副議長

門林 雄基 奈良先端科学技術大学院大学 情報科学研究科 准教授

ファウンダー

高橋 徹 株式会社インターネット戦略研究所 代表取締役会長

アドバイザー

冲中 秀夫 KDDI 株式会社 常勤顧問 工学博士
近藤 邦昭 株式会社まほろば工房 代表取締役
藤原 洋 株式会社ナノオプト・メディア 代表取締役社長

アドバイザー&イベントリエゾンリーダー

砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授 / 工学博士

アドバイザー&エディター

本林 良太 日本電気株式会社 ビジネスインキュベーション本部 マネージャー
オーリ・ジェイコブソン シスコシステムズ・インク インターネット プロトコルジャーナル 編集長

プログラム委員

伊勢 幸一 株式会社データホテル 情報環境技術研究室 執行役員室長
大江 将史 大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台 天文データセンター 助教
木下 剛 シスコシステムズ合同会社 専務執行役員
クロサカ タツヤ 株式会社 代表取締役
高橋 正和 日本マイクロソフト株式会社 チーフセキュリティアドバイザー
田中 邦裕 さくらインターネット株式会社 代表取締役社長
西 宏章 慶應義塾大学 理工学部 准教授
野村 祐士 株式会社富士通研究所 クラウドコンピューティング研究センター 主任研究員
福田 克 日商エレクトロニクス株式会社 エンジニアリング本部 システムエンジニアリング部 部長
福智 道一 BBIX 株式会社 専務取締役 兼 COO
三宅 功 エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社 代表取締役社長

(順不同/五十音順敬称略)

※本ガイド記載情報は2013年5月31日現在のものであり、内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

NW-01

■IoT / M2M / スマートグリッド
スマートコミュニティ

6月11日(火) 10:00~17:00

スマートグリッドからスマートシティへ

Toward a Smart City from Smart Grids

講師

Moderator / Speakers

Moderator	西 宏章	慶應義塾大学 工学部 准教授
Speakers	勝又 淳旺	東光電気株式会社 顧問
	合田 忠弘	同志社大学 工学部 教授
	鈴木 高宏	東京大学 生産技術研究所 准教授 長崎県 産業労働部 政策監
	望月 洋介	日経BP 日経BPクリーンテック研究所 所長

概要

Overview

スマートグリッドでは、これまで直接通信することがなかった様々なデバイスやシステム間での情報共有が必要となり、この観点での標準化が進められています。一方で、このような異種間情報共有は、スマートグリッドにとどまらず、電力網や通信網以外の、例えば高度道路交通システムや、行例サービス、構造物管理、医療サービスなどへ波及し、様々なインフラ統合、すなわちスマートコミュニティへと進化しようとしています。この流れをいち早く掴むとともに、その問題点や意義について考え、今後を知る上での羅針盤として本ワークショップをお役立てください。

要旨

Syllabus

1. 今更聞けない電力網

- 電力系統はどのように構築されているのか
- 情報通信技術はどのように利用されているのか
- 瞬時安定の系統安定と30分同時同量

2. スマートグリッド技術標準動向

- ITU, IECにおけるスマートグリッド標準動向
- 今後の標準化スケジュール
- 日本はどのように標準化へ貢献するべきか

3. モビリティとスマートシティ

- 長崎での取り組み:長崎EV&ITS
- EVとITSの将来
- 地方自治体が期待するこれからのモビリティと情報システム

4. スマートシティとサービス

- スマートシティの国内外事例
- スマートシティにおけるサービス
- 情報通信はスマートシティに何をもたらすか

対象者

Who should attend

スマートグリッドやスマートコミュニティおよび、それらに基づくサービスの在り方、技術標準、実証例などに興味のある方

NW-02

■企業情報システム

6月11日(火) 10:00~17:00

Enterprise ネットワーク構築ガイド

～ 部署単位から企業レベルまで; ネットワーク構築の道しるべ～

Enterprise Network Design & Implementation Guide
- From Section-scale to Company-scale Networking -

講師

Moderator / Speakers

Moderator	宮永 直樹	日本電気株式会社 企業ネットワーク事業部 シニアエキスパート
Speakers	大江 将史	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台 天文データセンター 助教
	山城 重成	株式会社ラック サイバーセキュリティ研究所 研究員
	寺澤 知昭	トヨタ自動車株式会社 ITマネジメント部 グループ長
	手塚 信之	SCSK株式会社 ITエンジニアリング事業本部 ミドルウェア部
	嶋田 健久	日本電気株式会社 企業ネットワーク事業部 マネージャー

概要

Overview

「積極的なIT投資を図れる大企業」と、「世界一のブロードバンドの普及によって充実する家庭ネットワーク」の狭間にあるのが、中堅企業のIT環境です。その多くは、現場からの要求により持ち込まれた計画性のない部署単位のネットワークの集合体で、それでいていつの間にか、その不安定な環境に頼らざるを得ない業務が増加してきています。電子メールが電話・FAXをも凌ぐビジネスツールとなり、さまざまな情報が電子化されて扱われる今日では、「企業全体を通じたITの管理体制」がなければ、さまざまなリスクがあることは多くの経営者が感じていることでしょう。情報漏えい、ソフトウェアのライセンス違反、スパムメールの中継点としての盗用の危険性。これらはプライバシーマークなどの認定にも大きく影響します。

しかし、企業の規模によっては、専任の社員を配置することもできず、また、ある程度の費用が必要な外部の運用サービスへの委託もままならない場合もあることでしょう。さらにスマートデバイスの普及によって個人のITの利用スタイルが大きく変革し、これを「職場でのワークスタイルの変革につなげたい」などといった活用策にも大きな期待が高まっています。このワークショップは、そのような現状での不安定な運用をやむなく続けている企業において、ある日突然「IT推進役」に任命された方に贈るものです。製品の細かい仕様や、動いてしまえば意識することがない内部のプロトコルの解説などは省き、「企業としてネットワークシステムをどうしていかなければいけないのか?」、「要件定義はなにをどのように進めるべきか?」、「実際のシステム構築のポイントは?」を中心に扱います。また「投資対効果を考えるときの観点」や「予算取りを行うときのコツ」についても、それを実務としている講演者からお話します。想定として、パソコンの稼働台数が数千台程度、国内に複数の拠点があり、部署単位の勝手なネットワークが導入されてしまっている仮想企業「幕張製作所」を題材とし、企業の活動基盤となるIT環境の構築の道を、段階別に疑似体験していただけます。

要旨

Syllabus

1. ワークショップの全体説明

- セッションを企画した経緯
- 企業ネットワークの歴史
- エンタープライズとしてのNWの要件
- これからのネットワークの活用のポイントは?

2. 仮想企業Aの概略

- 企業概要
- 現在のネットワーク構成
- 中期計画
- 現在の課題
- 今後のNW活用の期待

3. いまどきの音声ネットワークの構築・運用

- 第一部 いまどきの音声ネットワークの利用形態
- 電話機の選定
- SIPサーバの選定
- キャリアサービスの選定
- ネットワーク要件
- ワークスタイル改革の検討

- 第二部 仮想企業「幕張製作所」における音声システムの要件定義と構築システム

4. セキュリティ対策

- 第一部 スマートデバイスのセキュリティ動向
- 企業における業務利用の現状
- モバイルデバイスの統合管理(MDM)
- アクセス方式とデバイスの認証
- 業務利用におけるセキュリティ対策の課題

- 第二部 仮想企業「幕張製作所」におけるスマートデバイス活用とセキュリティ

5. 最新のLAN構築と安全なモバイル環境

- 第一部 今までのLAN構築技術
- 最近のトレンドのLAN構築技術
- NW観点での仮想化
- LAN構築技術での事例
- モバイル環境での必須なセキュリティ機能
- 無線LAN構築技術の今/昔
- VPN/SSL-VPN構築技術の今/昔
- モバイル環境での事例

- 第二部 仮想企業「幕張製作所」におけるネットワーク要件のポイントと構築システム

5. パネル・ディスカッション

- ユーザ企業の情報システム担当としての考え方
- 仮想企業「幕張製作所」における課題と解決
- 仮想企業「幕張製作所」におけるNW活用

6. 会場Q&A

- 実際の悩みは別なところにある?

対象者

Who should attend

- 企業のIT推進担当者(企業は数千人規模)
- 企業向けシステムインテグレータ

※初級・中級のな位置づけとして、基本的な構築のポイントを中心としたものとなります。

NW-03

■ 次世代データセンター / クラウド基盤
■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月11日(火) 10:00~17:00

データセンターネットワーク まるわかり

~ゼロから学べる! データセンターネットワーク~

All about Data Center Network

- A Guide to Build a Data Center Network -

講師

Moderator / Speakers

Moderator	西牧 哲也	ヤフー株式会社 執行役員 チーフセキュリティオフィサー システム統括本部長
Speakers	花山 寛	ネットワンシステムズ株式会社 市場開発室
	松本 拓也	ヤフー株式会社 基盤システム開発本部 インフラ技術1・2部 IT戦略 / ネットワーク 1 チーム
	福智 道一	BBIX株式会社 専務取締役 兼 COO
	福田 克	日商エレクトロニクス株式会社 エンジニアリング本部 システムエンジニアリング部 部長
	福田 知夫	日本電気株式会社 ソリューションプラットフォーム統括本部 エキスパート
	林 真樹	株式会社IDCFロンティア

概要

Overview

クラウドサービスの普及、災害への対策を背景に、多くのICTシステムがデータセンター(DC)に集約されつつあり、また、その需要はますます高まっています。

データセンターネットワークは、データセンターの内外において、サーバ・ストレージなどの機器を接続するために、基本となる存在です。しかし、仮想化・クラウド・災害対策などのさまざまな要望に応えるために、利用形態・サービス形態に応じた、柔軟性・可用性・拡張性を提供する必要も出てきました。ところがこれまでの技術や管理・運用手法のみでは、これらの要望に応えるのが難しくなっています。

そこで本ワークショップでは、『日本データセンター協会(JDCC)』から、現状のデータセンターネットワークの課題をいくつかの視点からピックアップし、それらの課題に対する技術動向・ソリューション例など、設計・構築・運用・管理の実践で役立つ知識について幅広く紹介します。

日本データセンター協会(JDCC)とは
『日本データセンター協会(JDCC: Japan Data Center Council)』とは、IT立国の基盤を支える「データセンター」のあるべき姿を追求する、特定非営利活動法人(NPO法人)です。日本のデータセンターは、コスト・性能・安全・信頼などの面において、国際競争力を備えたものへと進化することが急務の課題です。そこでJDCCでは、データセンター事業者と主要データセンター関連事業者の参加を得、水平的かつ垂直的に協力し合うことで、情報共有・技術開発・共同研究を推進し、これら課題の解決に向けて取り組んでいます。

要旨

Syllabus

1. 『日本データセンター協会(JDCC)』の活動概要

2. 最新データセンターネットワークの全体像

- ・コンピューターシステムのトポロジーの変遷
- ・データセンターサービスの種類
- ・サービス利用者から見たクラウド種別
- ・クラウドネットワークに求められる要件
- ・データセンターネットワークの課題

3. 物理ネットワーク

- ・配線構成の考え方
- ・ケーブル・ルートと設置場所の選択
- ・通信ケーブルの種類
- ・ケーブル・ルートの線路部材
- ・ネットワークアーキテクチャと配線
- ・物理ネットワークのトレンドと今後

4. 論理ネットワーク

- ・論理ネットワークに求められる要件
- ・物理ネットワークをシンプルにするための仮想化技術
- ・マルチテナントを実現するための仮想化技術
- ・サーバ仮想化環境で必要となるネットワーク仮想化技術
- ・ストレージネットワーク
- ・今後注目されるSDNとは?
- ・データセンターにおける外部接続回線
- ・データセンター間L2ネットワーク
- ・広域レプリケーション

5. 運用管理

- ・Scope of Network Operation
- ・IT マネジメントシステム
- ・ITIL v3 からの展開
- ・Scorp of Work と ITIL v3 の紐付け
- ・運用を意識したネットワーク OSS について

6. トラフィックマネジメント

- ・クラウドにおけるトラフィックマネジメントの考え方
- ・トラフィック増が想定されるボトルネックポイント
- ・トラフィック増に対する具体的な対応方法
- ・トラフィック増の想定シナリオ

7. デザスタ・リカバリを実現するためのネットワーク

- ・デザスタ・リカバリを実現するに当たり
- ・デザスタ・リカバリでのネットワーク設計

8. 今後の技術動向

- ・IPv4 アドレス枯渇
- ・IPv6
- ・セキュリティ

9. パネルディスカッション

対象者

Who should attend

- ・データセンターネットワークに関連する知識・技術動向を幅広く学ばれたい方
- ・サービス事業者様でデータセンターネットワークの設計・構築・運用を担当されている方
- ・ユーザ企業様、Sler 様でデータセンターネットワークの設計・構築・運用を担当されている方

NH-01

■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月11日(火) 10:00~17:00

Northbound APIによる

SDN/仮想ネットワーク構築講座

SDN/Network Virtualization Hands-on Seminar by Northbound API

講師

Moderator / Instructors

Moderator	浅羽 登志也	株式会社ストラトスフィア 代表取締役社長
Instructors	石黒 邦宏	株式会社ストラトスフィア
	白崎 博生	株式会社ストラトスフィア

概要

Overview

クラウド環境では、多様なユーザネットワークを単一の物理インフラの上で互いに独立して動作させる必要があり、その解の一つとしてSDNに大きな期待が寄せられています。とくに「マルチテナントのクラウド環境」や、「複数の仮想マシン(VM)とデータセンターを広域に分散するようなケース」では、ネットワークの複雑な構成管理や物理的な制約がボトルネックとなっています。

これらの要望や課題を実現・解決するためには、「ユーザに割り当てられたVM を収容する仮想ネットワーク」を、物理ネットワーク上に構築・管理するためのソフトウェアが必要となります。また、「仮想ネットワークを自由に定義し、管理・利用するための機能」そのものをオープンに提供・整備していくことも必要です。

本セッションは、前半の座学、後半のハンズオントレーニングを通して、SDNソリューションの一つである『Stratosphere』を用いて、階層型APIによるネットワーク制御の基礎知識を習得していただくことを目的としています。

StratosphereはオープンなAPIにより、IaaS/PaaS/SaaSを単純化された階層として再定義することで、ユーザに合わせた柔軟なカスタマイズができるソリューションです。

座学では、SDN・Stratosphereの基本知識から始まり、そのアーキテクチャや提供されるAPIの仕様の概要を学習していただきます。

ハンズオントレーニングでは、Stratosphereが提供するAPIを用いて簡単なプログラミングを行い、実際のネットワーク制御を実習していただきます。

当日持参いただく物

- ・操作用PCとして以下のスペックのノートPCをご持参下さい。
 - 100BASE-TX または 1000BASE-T のLANポートを実装していること
 - SSHクライアントが利用可能なこと

要旨

Syllabus

◆座学 - SDNソリューション・階層型APIがもたらすもの

- 1) SDNソリューションによって何がかわるのか
 - ・仮想化されたネットワークの必要性
 - ・仮想化されたネットワークの課題
- 2) Northbound API
 - ・OpenなAPI仕様の必要性
 - ・Northbound APIとは

3) Exosphere API仕様

- ・3層構造のAPI
- ・何をしたいのか、何ができるのか
- ・今後のロードマップ

◆ハンズオン - Stratosphereによる仮想ネットワーク構築

- 1) ハンズオン事前説明
 - ・CloudStack概要説明
 - ・Stratosphere SDN Platform (SSP) 概要説明
 - ・ハンズオンシナリオ説明

2) Stratosphere SDN Platform (SSP) 環境設定

- ・インストールと設定

3) 仮想ネットワークの作成

- ・Pythonを用いたプログラミングの基本説明
- ・Stratosphere Northbound API (Exosphere API)の概略説明
- ・仮想ネットワーク作成のシナリオ確認
- ・実際のAPI操作をPythonによって記述、実行
- ・動作確認

*) 会場環境や進行の状況により、インストール作業などの項目については、手順のみ説明・テキストに記載させて頂き、作業自体は割愛させて頂く場合もございます。

対象者

Who should attend

- ・データセンター/クラウド/キャリア/ISP等でSDN技術の導入を検討されている方
- ・UNIX系OS上でのコマンド操作、エディタ操作などのご経験があること(実際に簡単なプログラムを作成いただくため)
- ・SDNの概念・基礎知識をお持ちであること

NH-02

■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月11日(火) 10:00~17:00

もうリセットで解決しない

～さくらインターネット田中社長と深く詳しくLinuxサーバの障害対応を学ぶ1日～

Tips for Avoiding "Reset"

- Professional Lecture by Sakura Internet Inc. President Kunihiro Tanaka -

講師

Instructor

Instructor 田中 邦裕

さくらインターネット株式会社
代表取締役社長

概要

Overview

データセンター、クラウドの需要が急成長するなか、Linuxを搭載したサーバの数も著しく増えてきました。そのような中、安価なIaaSやVPSの普及が進んだことや、GUIにより管理が簡単になったことなどから、「サーバ管理者」と呼ばれる人も増えてきました。しかしながら、サーバにつながらなくなったり、レスポンスが悪くなったりした際などの障害対応については情報が少なく、サーバを再起動して解消したり、安易にサーバを増設して対応したりと、場当たりの対応に終始するケースが大半です。

本ハンズオンでは、すでにLinuxの運用にかかわっている「サーバ管理者」の方々を対象に、エントリーレベルのオペレーションからの脱却を目指します。

前半は座学を中心として、サーバの基礎的な内容のほか、状態の把握や対処方法などプロフェッショナルオペレーションの構成要素を学びます。

後半は、実際のオペレーションを通じて演習を行い、最後に擬似トラブルを作ったの、切り分け～原因究明～復旧オペレーションの演習を実際に行います。これらの一連の演習から、場当たりの対応ではない「負けない運用」には何が重要なのかを会得します。

当日持参いただく物

・作業用PCとして、以下のスペックのノートPCをご持参下さい。

[ハードウェア]

- CPU:最小750MHz以上(1GHz以上推奨)、RAM:最小1GB以上(2GB以上推奨)
- 空きディスク容量:100MB以上
- 100BASE-TX または 1000BASE-T のLANポート

[ソフトウェア]

- OS (Windowsを推奨)
- SSHクライアントソフトウェア(TeraTermやputtyなど)
- javaもしくはHTML5の動作可能なブラウザ(chromeやFirefox、MSIEの場合は9以降)

※ハンズオンはIaaSクラウド環境を用いて行いますので、操作を行うためにjavaもしくはHTML5の動作するブラウザが必要です。

※コンソール作業が必要なものを除いて、SSH経由でサーバの操作を行うためSSHクライアントソフトが必要です。

要旨

Syllabus

基本項目

- ・Linuxの概要
- ・運用において直面するトラブル
- ・ハードウェアに関する基礎知識

コマンドを学ぶ

- ・プロセスに関するもの
- ・メモリに関するもの
- ・ファイルシステムに関するもの
- ・ネットワークに関するもの
- ・具体的なケーススタディ

実際に演習する

- ・OSの設定
- ・サーバ負荷の原因調査と対処
- ・ネットワーク負荷の原因調査と対処
- ・ウェブサーバのチューニング
- ・サーバが起動しない時の対応
- ・straceを使ったプロセスの動作解析
- ・カーネルのクラッシュとデバッグによる解析

トラブル対応

- ・トラブルを発生させて対処を行う

対象者

Who should attend

Linuxのコマンドラインの使用方法や、viなどのエディタの操作方法など、基本的な事項については、すでにマスターされている方を対象としています。

NH-03

■ IPv4 アドレス枯渇とIPv6 移行
■ 企業情報システム
■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月12日(水) 10:00~17:00

IPv6ネットワーク基礎編 ～AlaxalA編～

IPv6 Network Basics - AlaxalA -

講師

Instructor / Teaching Assistant

Instructor 高津 智明

アラクサラネットワークス株式会社
エンジニアリング マネージャ
IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース

Teaching Assistant 澁谷 晃

一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

概要

Overview

昨年のJPNICにおけるIPv4アドレスの通常の割り振りの終了や、今年の『World IPv6 Launch』に見られるように、IPv6の必要性が高まっているのは間違いありません。そこで、こういったトレンドに実践的に応えるため、IPv6のプロトコル・機能の仕組みを理解し、さらに実機を動作させることを目的として、IPv6に関する基礎的な座学も含めた本ハンズオンセッションを開催します。

まず、IPv6の機能や特徴についての概要、IPv6を導入するための設計・構築・運用方法、経路制御の方法、運用・監視関連技術について学びます。その後、実機を利用したルータの設定を体験します。

なおこのセッションは、『IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース』『アラクサラネットワークス株式会社』『一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター』の協力により実施します。

要旨

Syllabus

※内容については変わる可能性があります。あらかじめご了承ください。

AlaxalA (AX3640S)を用いた以下のような演習を行います。

●IPv6概要

- ・IPv6の主な機能や特徴を説明します。

●クライアント挙動

- ・WindowsクライアントにIPv6アドレスを設定し、実際のアドレス解決がどのような手順で行われているのかを説明します。
- ・IPv6での通信に障害がある場合のIPv4へのフォールバックを検証します。

●ルータの設定

- ・ルータにIPv6アドレスとOSPFv3の設定を行い、IPv6インターネットへの接続性を確認します。
- ・主経路に通信断を起こしてOSPFv3の経路制御が正しく行われることを確認します。
- ・演習の進行度合いにより、BGP4+の設定および経路制御の確認、デフォルトゲートウェイの冗長化などを体験いただけます。

対象者

Who should attend

- ・IPv4 ネットワークの運用経験がある人
- ・ルータやスイッチの運用経験がある人

NH-04

- IPv4 アドレス枯渇と IPv6 移行
- 企業情報システム
- キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月13日(木) 10:00~17:00

IPv6ネットワーク基礎編 ~サーバ編~

IPv6 Network Basics - CentOS Server -

講師 Instructor / Teaching Assistant

Instructor 國武 功一 株式会社ビーコンエヌシー

Teaching Assistant 澁谷 晃 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

概要 Overview

JPNICにおけるIPv4アドレスの通常の割り振りの終了や、昨年の『World IPv6Launch』に見られるように、IPv6の必要性が高まっているのは間違いありません。そこで、こういったトレンドに実践的に応えるため、IPv6のプロトコル・機能の仕組みを理解し、さらに実機を動作させることを目的として、IPv6に関する基礎的な座学も含めた本ハンズオンセッションを開催します。

このセッションでは、Linux(CentOS)を用いた、各種サーバのIPv6設定について学びます。

なおこのセッションは、『IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース』『一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター』の協力により実施します。

要旨 Syllabus

※内容については変わる可能性があります。あらかじめご了承ください。

IPv6環境下において Linuxサーバの運用を行う上での必要最低限の知識を身につけるため、IPv6のアドレス体系などの座学などに加え、主なミドルウェアのIPv6化についての知識を身につけます。

- DNSサーバ(BIND9)
- SMTPサーバ(Postfix)
- POPサーバ(Dovecot)
- Apache
- NTP

また、後半では下記についての実習を実施する予定です。(時間により、一部のみの実施となる場合があります)

- ・サーバのネットワーク基本設定
- ・tcp_wrappersの設定
- ・apacheの設定
- ・Postfixの設定
- ・NTPサーバの設定
- ・bindの設定
- ・ip6tablesの設定
- ・dovecotの設定

対象者 Who should attend

- ・ IPv4 サーバの運用経験がある人
- ・ Linux の運用経験がある人

NH-05

- 企業情報システム
- キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月13日(木) 10:00~17:00

仮想ルータVyattaを使った
ネットワーク構築法!

How to Build a Cloud Network using Vyatta!

講師 Moderator / Instructors

Moderator 近藤 邦昭 株式会社まほろば工房 代表取締役

Instructors 伊藤 哲史 伊藤忠テクノソリューションズ株式会社
浅間 正和 日本Vyattaユーザー会 ボードメンバー/
有限会社 銀座堂

概要 Overview

ネットワークがクラウド化し、仮想化の世界が広がり続けています。仮想化したネットワークは、仮想化に適応したルータが必要です。それがVyattaです。Vyattaは、「仮想アプライアンス」という形で提供される仮想のルータです。ソフトウェアとして動作するこのVyattaも現在のサーバに導入すれば、十分活用できるパフォーマンスが得られるばかりではなく、普段であれば数百万円する程の様々な機能が、コミュニティバージョンのVyattaなら無料で使えるすぐれものです。

本セッションでは、このVyattaがどのような構成になっているか、そしてどのように活用し、使っていくのかをハンズオン形式で学んでいきます。

学習内容は主に企業ネットワークで使いそうな機能を中心に構成しています。また、Vyattaのコマンドの使い方から学習しますので、Vyatta初心者から参加できます。ネットワークの初心者でも大丈夫です。

残念ながら、IPアドレスとは何か、サブネットとは何か、などネットワークに関する初歩的な部分は時間の都合上学習しませんので、サーバのネットワーク設定をしたことがある。サーバやルータコマンドラインを使った経験がある。という方が対象になります。

当日持参いただく物

- ・作業用PCとして、以下のスペックのノートPCをご持参下さい。
 - 100BASE-TX または 1000BASE-T の有線LANポートを実装している物
 - SSH プロトコルを利用したりリモート接続が可能な物
- (Windows の場合は TeraTerm (<http://sourceforge.jp/projects/ttssh2/>) 等がインストールされていること)

要旨 Syllabus

- ◆座学 - Vyattaを学ぼう！
 - ①Vyattaとは何か?(概要) ②Vyattaの構成と特徴 ③Vyattaの使い方
- ◆ハンズオン - 使ってみよう！
 - ①基本設定
 - ・アドレスの設定
 - ・ルーティングの設定(デフォルトルート・スタティックルート)
 - ・アカウントの設定
 - ・サービスの設定(SSH・SNMP(ON にしてみましよう程度))
 - ・DHCP サーバの設定
 - ・PPPoE の設定
 - ②外部のアクセスとセキュリティ
 - ・NAT/NAPT(PortForwarding/Masquerade/Static NAT) ・ACL
 - ②ダイナミックルーティング
 - ・OSPF
 - ③VPN
 - ・IPsec ・PPTP
 - ④HA(時間の都合で割愛するかどうかを判断)
 - ・VRRP

対象者 Who should attend

学習内容は主に企業ネットワークで使いそうな機能を中心に構成しています。また、Vyattaのコマンドの使い方から学習しますので、Vyatta初心者から参加できます。ネットワークの初心者でも大丈夫です。

残念ながら、IPアドレスとは何か、サブネットとは何か、などネットワークに関する初歩的な部分は時間の都合上学習しませんので、サーバのネットワーク設定をしたことがある。サーバやルータコマンドラインを使った経験がある。という方が対象になります。

NH-06

- IPv4 アドレス枯渇と IPv6 移行
- 企業情報システム
- キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月14日(金)10:00~17:00

IPv6ネットワーク基礎編 ～Cisco編～

IPv6 Network Basics - Cisco -

講師 Instructor / Teaching Assistant

Instructor 服部 亜紀子 シスコシステムズ合同会社

Teaching Assistant 澁谷 晃 一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター

概要 Overview

JPNICにおけるIPv4アドレスの通常の割り振りの終了や、昨年「World IPv6 Launch」に見られるように、IPv6の必要性が高まっているのは間違いありません。そこで、こういったトレンドに実践的に応えるため、IPv6のプロトコル・機能の仕組みを理解し、さらに実機を動作させることを目的として、IPv6に関する基礎的な座学も含めた本ハンズオンセッションを開催します。

まず、IPv6の機能や特徴についての概要、IPv6を導入するための設計・構築・運用方法、経路制御の方法、運用・監視関連技術について学びます。その後、実機を利用したルータの設定を体験します。

なおこのセッションは、『IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース』『シスコシステムズ合同会社』『一般社団法人日本ネットワークインフォメーションセンター』の協力により実施します。

要旨 Syllabus

※内容については変わる可能性があります。あらかじめご了承ください。

Cisco (Catalyst3750)を用いた以下のような演習を行います。

- ・アドレッシングとDNS
- ・ネットワーク冗長化
- ・ルーティング
- ・パケットフィルタリング

対象者 Who should attend

- ・IPv4 ネットワークの運用経験がある人
- ・ルータやスイッチの運用経験がある人

NH-07

- 次世代データセンター / クラウド基盤
- キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月14日(金)10:00~17:00

CloudPlatform構築・運用講座

Hands-on Session for Developers:
CloudPlatform Basic Configuration Course

講師 Moderator / Instructors

Moderator 横田 元 日商エレクトロニクス株式会社

Instructors 遠藤 正人 日商エレクトロニクス株式会社
エンジニアリング本部 システムエンジニア

近藤 智基 日商エレクトロニクス株式会社

山口 康幸 日商エレクトロニクス株式会社

島崎 聡史 シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
パートナーSE部 システムズエンジニア

北瀬 公彦 シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
事業開発本部 ソリューションマーケティングマネージャー

概要 Overview

クラウド市場は堅調な成長を続けており、企業向けのプライベートクラウド/パブリッククラウドも本格導入が進みつつあります。今後ますますクラウドへの移行が進み、さまざまな事業者、企業でクラウドの構築が検討されるものと思われませんが、単にリソースの共有化、サーバ・ネットワークの仮想化を行うだけでは、競争力のある真のクラウドの構築はできません。

『クラウドマネジメントシステム』は、クラウドに必須と言われる「オンデマンドセルフサービス」「即時性を持ったスケールイン・スケールアウト」を実現する、真のクラウドを実現するために不可欠なソリューションです。本セッションは、座学、ハンズオンを通して、クラウドマネジメントシステムの選定・設計・開発に必要な知識を習得していただくことを目的としています。

座学では、クラウドマネジメントシステムの現状と動向、CloudPlatform/CloudStackの活用事例や今後の展望について学習します。午後のハンズオンでは、CloudPlatformを用いたIaaS基盤の構築・運用に必要な設定・操作方法を体験・習得いただけます。

当日持参いただく物

・作業用PCとして、以下のスペックのノートPCをご持参下さい。

[ハードウェア]

- CPU:最小750MHz以上(1GHz以上推奨)、RAM:最小1GB以上(2GB以上推奨)
- 空きディスク容量:100MB以上 - 100BASE-TX または 1000BASE-T のLANポート

[ソフトウェア]

- WindowsXP SP3 または Windows7 SP1
- Citrix XenCenter 6.0.2(インストール方法については事前に案内させていただきます)
- TeraTerm - Firefox(最新版) - REST Client Tools(FireFoxアドオンなど)

要旨 Syllabus

◆座学 - クラウドマネジメントシステムを学ぼう！

- ①クラウドサービスの現状とUSの最新動向
 - US、日本のクラウド事情 - 課題とソリューションの最先端
- ②CloudPlatformのロードマップと今後
 - CloudPlatformとCloudStackの関係 - CloudPlatformの現状と最新情報
 - 今後のロードマップ - 導入事例紹介
- ③基本的なアーキテクチャの説明
 - ハンズオンに沿ったアーキテクチャ解説

◆ハンズオン - CloudStackの設定を学ぼう！

- ①初期設定・基本的な操作
 - Setupウィザードの解説 - Setupウィザードの実行 - 仮想マシンの操作説明
 - 仮想マシンの作成 - オファリングの説明 - オファリングの作成 - オファリングの設定
- ②高度な操作
 - アドバンスネットワークの説明 - ネットワークオファリングの説明
 - アドバンスネットワークの設定 - ネットワークオファリングの設定
 - VPCの説明 - VPCの設定

*）進行状況により時間に余裕のあった場合には、以下の内容も実施させていただきます。

- ネットワーク連携の説明 - ネットワーク連携の設定 - API連携の説明 - API連携の実演

*）ハンズオンは、2名で1システムを操作頂く形となります。

*）各サーバ、ソフトウェアについては、時間の都合上事前に環境を準備させて頂くため、インストール作業については手順のみ説明・テキスト記載させて頂き、作業自体は割愛させて頂く場合もございます。

*）ハンズオンにて利用するソフトウェア一式については、後日復習が出来るよう、入手方法をテキストに記載させていただきます。

対象者 Who should attend

- ・クラウドマネジメントシステムの選定・設計・開発に必要な基礎知識を習得したい方
- ・クラウド(主としてIaaS)サービス基盤の設計・運用を担当されている方
- ・サーバ仮想化、ハイパーバイザ、仮想スイッチの基礎知識をお持ちであること
- ・ネットワークの基礎知識をお持ちであること
- ・CloudStack や OpenStack の基礎知識をお持ちであること

NST-01

6月12日(水) 18:00~20:00

ShowNetテクニカルツアー & セッション(1)

講師 Speakers

Speakers ShowNet NOCチームメンバー

概要 Overview

2時間みっちりShowNetを通して最新技術やネットワーク技術の実践について学べる絶好の機会です。展示会終了後、静けさを取り戻しつつあるツアー、そしてNOCメンバーによる講義がセットになったネットワーク運用管理者必見のプログラムです！

※ShowNetテクニカルツアー&セッション(NST-01、NST-02)は、コンファレンス(NC、SD)とは別料金となります。

当日価格:10,000円(税込)/1セッション

※NST-01、NST-02は同一の内容となります。

<タイムテーブル予定>

(集合場所は、幕張メッセ 国際会議場1Fの受付となります。)

- 18:00-19:00 テクニカルツアー @展示会場
- 19:00-20:00 テクニカルセッション@会議場

ShowNet は最新の機材と技術を用いて構築された、近未来ネットワーク環境です。

本セミナーでは、ShowNet が示す近未来のネットワークコンセプト、ならびに構築に用いられている技術を紹介し、数年後に普及するであろう技術とこれからのインターネットに必要とされる技術について考察を加えます。

NST-02

6月13日(木) 18:00~20:00

ShowNetテクニカルツアー & セッション(2)

講師 Speakers

Speakers ShowNet NOCチームメンバー

概要 Overview

2時間みっちりShowNetを通して最新技術やネットワーク技術の実践について学べる絶好の機会です。展示会終了後、静けさを取り戻しつつあるツアー、そしてNOCメンバーによる講義がセットになったネットワーク運用管理者必見のプログラムです！

※ShowNetテクニカルツアー&セッション(NST-01、NST-02)は、コンファレンス(NC、SD)とは別料金となります。

当日価格:10,000円(税込)/1セッション

※NST-01、NST-02は同一の内容となります。

<タイムテーブル予定>

(集合場所は、幕張メッセ 国際会議場1Fの受付となります。)

- 18:00-19:00 テクニカルツアー @展示会場
- 19:00-20:00 テクニカルセッション@会議場

ShowNet は最新の機材と技術を用いて構築された、近未来ネットワーク環境です。

本セミナーでは、ShowNet が示す近未来のネットワークコンセプト、ならびに構築に用いられている技術を紹介し、数年後に普及するであろう技術とこれからのインターネットに必要とされる技術について考察を加えます。

NC-01

IoT / M2M / スマートグリッド
スマートコミュニティ

6月13日(木) 14:40~16:10

ITSが先導する次世代の
ビックデータイノベーション

Next-Generation Big Data Innovation Led by ITS

講師 Chair/ Speakers

Chair 砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授

Speakers 天野 肇 特定非営利活動法人 ITS Japan 専務理事
佐藤 雅明 Interactive and Digital Media Institute(IDM)
National University of Singapore
Visiting Senior Research Fellow

概要 Overview

さまざまな情報を集約し、そこから有益な情報を生み出す「ビックデータ」が注目を集めています。その中で最前線を進んでいるのが、自動車を中心とした「交通機関から収集される位置情報」を伴う情報です。

本セッションでは、まずその中核をなす「Intelligent Transport Systems(ITS)」について、最新の状況を紹介します。また、ITSから得られた情報を活用した例として「東日本大震災時に生成された自動車の通行履歴などのビックデータへの適用」を、国際的に進んでいるITSの一つとして「シンガポールでの事例」などを紹介します。

本セッションは開催日程に変更がありましたのでご注意ください

NC-02

■企業情報システム
■次世代データセンター / クラウド基盤

6月12日(水) 12:50~14:20

パブリッククラウドと
プライベートクラウドの使い分け方

Cloud: Public or Private?

講師 Chair/ Speakers

Chair 三宅 功 エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社
代表取締役社長Speakers 関 洋介 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社
クラウドサービス部
ホスティング&プラットフォームサービス部門長
澤 円 日本マイクロソフト株式会社
クラウド&ソリューションビジネス統轄本部
マイクロソフトテクノロジーセンター センター長

概要 Overview

現在では、「パブリッククラウドサービス」が数多く提供されるようになってきています。しかしその一方で、仮想化技術を用いた「プライベートクラウド」も、さまざまな企業において活用が始まっています。

これらの両者を適材適所で使い分けることができるのなら、現在の企業ユーザが直面する、「新しいサービスの迅速な提供」あるいは「グローバルへ迅速な展開」が、健全な財務体質の実現とともに可能になると考えられます。

そこで本セッションでは、NTTコミュニケーションズが提供する「Enterprise Cloud」やマイクロソフトが提供する「Office365」/「Windows Azure」といった、パブリッククラウド、プライベートクラウドの実例を題材として、両者の使い分けのポイントについて解説します。

NC-03

■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ



6月12日(水) 12:50~14:20

急速に成長するアジアインターネット ビジネス最前線

Rapidly Growing Internet Infrastructures in Asia

講師 Chair/ Speakers

Chair 石井 秀雄 PACNET Global Singapore PTE LTD.
Network Engineering and Architecture
Vice President

Speakers Kanchana Kanchanasut
Computer Science and Information Management School
of Engineering Technologies and
Director Internet Education and Research Laboratory
Asian Institute of Technology Professor

古田 敬 エクイニクス・ジャパン株式会社 代表取締役

田村 俊之 KDDI株式会社 グローバルICT本部
副本部長 兼 グローバル事業推進部長

概要 Overview

IT需要の急速な成長と、21世紀に入ってからのインターネットとデータセンターのインフラ構築が進むアジア新興国は、日本、欧州、米国などにとってのITインフラとITビジネスの中核ターゲットとなりつつあります。近年のインフラは、ISPの視点からは、モバイルトラフィックや新しいデジタルコンテンツの流通、家庭へのファイバークラスの構築完了などによって、あきらかにトラフィックの増加傾向が見られます。また、データセンターの視点からは、単にスペースと電力を提供するだけではなく、新しいデータセンターモデルへの転換が進みつつあり、コンピューティングリソースとアプリケーションソリューションも提供しはじめています。本セッションでは、第一線の専門家が、アジア(とくに東南アジア地域)におけるインターネットとデータセンターに関して、現在進行中の最新動向を展望するとともに、今後のビジネスをどう展開していくかについて議論します。

NC-04

■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月12日(水) 12:50~14:20

クラウドビジネスの最前線と今後

Survival Strategy of Cloud Business

講師 Chair/ Speakers

Chair 伊勢 幸一 株式会社データホテル
情報環境技術研究室 執行役員室長

Speakers 横田 真俊 さくらインターネット株式会社
山口 亮介 ニフティ株式会社

概要 Overview

2010年に始まった日本のクラウド事業。いまやほとんどのデータセンター事業者、ホスティング事業者やSI事業者が、さまざまなクラウドサービスを提供しています。このような乱立するクラウドサービス市場において、事業者間の生存競争がさらに激化していくことは必至でしょう。

クラウドサービスは、従来型のホスティングサービスに比べ、「IaaS基盤・ストレージ基盤・ネットワーク基盤などへの新たな投資」と「柔軟なリソース提供を実現する運用コスト」が増えているにも拘わらず、市場では「さらなる低価格化」が求められています。そこで本セッションでは、クラウドビジネスやクラウドコンピューティングに興味のある方や、クラウドサービスの事業者やエンジニアの方のお役に立つよう、「このような厳しいクラウド市場動向において、各事業者はどのような戦略でサービスを展開して行くべきなのか」をディスカッションします。

NC-05

■ IoT / M2M / スマートグリッド
スマートコミュニティ

6月12日(水) 14:40~16:10

主役に聞くHEMSの未来

Future Development of HEMS

講師 Chair/ Speakers

Chair 西 宏章 慶應義塾大学 理工学部 准教授

Speakers 薦田 美行 パナソニック株式会社 エコソリューションズ社
技術本部システム開発センター センター長

望月 昌二 三菱電機株式会社
リビング・デジタルメディア技術部 首席技師長

有馬 仁志 dSPACE Japan 株式会社 代表取締役社長

概要 Overview

昨今では、HEMS(Home Energy Mangement System)や情報家電、エコネット、スマートハウスなどの実験が、国内だけでなく国際的にも各地で盛んに行われています。しかし今後の技術発展や、事業としての展開は、実際のところどうなっていくのでしょうか？

そこで本セッションでは、「HEMSに取り組む企業」「独自にHEMS技術の構築に取り組むコンソーシアム」に、将来の技術展望や普及モデルについて、パネル討論を通じて伺います。「HEMS関連技術とビジネス動向の現状は怎么样了のか」「HEMSがビジネスモデルとして成功するにはどうすればよいのか」といった本質的な疑問に答えるべく、実際に一般家庭をターゲットとしたHEMSの構築実験を行っているオーガナイザが、鋭く切り込んでいきます。

NC-06

■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月12日(水) 14:40~16:10

どうする?どうなる?

SDN/クラウド時代の運用管理

How do We Manage SDN and Cloud Systems?

講師 Chair/ Speakers

Chair 野村 祐士 株式会社富士通研究所
クラウドコンピューティング研究センター 主任研究員

Speakers 山田 修司 さくらインターネット株式会社 運用部
鈴木 逸平 RightScale Inc.
Adovisory Board

今林 徹 富士通株式会社
ソーシャルクラウド事業開発室 シニアディレクター

概要 Overview

クラウドシステムはすでに実利用が進み、いまや基幹業務やビジネス戦略、意思決定のためのシステムへと応用も広がり始めています。また、「SDN」などサーバだけでなくネットワークを含めた新しい仮想化技術、「DevOps」といった新しい運用管理のあり方も登場し、これまで以上に柔軟なシステムの運用も可能になってきています。

一方、何重にも仮想化されたシステムの運用は、これまで以上に難しくなり、クラウドやネットワークが大規模に長時間停止する事例も多く発生しています。これからは、設計・構築時から運用を考慮するだけでなく、運用の自動化、運用から設計へのフィードバックなど「運用起点の対応」も重要なポイントになってきます。本セッションでは、最新の運用管理技術やその動向を紹介するとともに、SDN/クラウド時代の設計・運用で考慮すべきポイントを、具体的な事例を用いてわかりやすく解説します。

NC-07

■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月12日(水) 14:40~16:10

ルーティング最新動向

Leading-edge Trends in Routing

講師 Chair/ Speakers

Chair	吉田 友哉	インターネットマルチフィード株式会社
Speakers	河野 美也 松崎 吉伸	シスコシステムズ合同会社 株式会社インターネットイニシアティブ IJ ネットワーク本部 ネットワークサービス部 技術開発課 シニアエンジニア
	長滝 信彦	ジュニパーネットワークス株式会社 サービスプロバイダービジネス統括本部 チーフアーキテクト

概要 Overview

インターネットの発展に伴い、BGPを中心としたルーティング技術も日々発展と進化を遂げています。とくに最近では「SDN」に代表される新規技術など、「高信頼なネットワーク設計」だけでなく「運用性向上のための技術」も大切な要素になってきています。

一方、2013年以降もインターネットの経路数は増加の一途を辿っており、IPv4アドレスの枯渇後も継続的に増えています。IPv6ルーティングも本格化する中、「経路収束時間の短縮技術」や「スケーラビリティの確保」の課題、また「誤った経路情報を排除可能なRPKI技術」の導入検討など、さまざまな経路制御技術動向の把握も非常に大切です。本セッションでは、まずは前半で下記に関して網羅的に最新動向を解説します。

- 1)インターネット運用動向
 - 2)実践的な経路制御最新動向
 - 3)WorldWideの活用事例
 - 4)IDRを中心としたIETF等の標準化動向
- また後半では、より詳しく以下に関して考察し、議論を深めます。
- 5)Routing Security
 - 6)High Availability
 - 7)Routingの観点からのSDN最新動向

NC-08

■ セキュリティ
■ 企業情報システム

6月12日(水) 14:40~16:10

プライバシーとIDマネジメント

Privacy and ID Management

講師 Chair/ Speakers

Chair	クロサカ タツヤ	株式会社企 代表取締役
Speakers	崎村 夏彦 高橋 克巳 楠 正憲	OpenID Foundation理事長 / Kantara Initiative理事 / 野村総合研究所 DIソリューション事業部 上席研究員 NTTセキュアプラットフォーム研究所 情報セキュリティプロジェクト プロジェクトマネージャ ヤフー株式会社 ID本部 本部長

概要 Overview

Webサービスの普及と端末の多様化に伴い、サービス利用時におけるIDマネジメントの重要度が増しています。

また日本政府も、番号制度(いわゆるマイナンバー制度)を引き続き推進しており、社会基盤の観点からもIDマネジメントの検討が必要とされています。

一方で情報セキュリティ・情報プライバシーの観点からは、「物理層による安心・安全の担保」なども期待され、「使い勝手と堅牢性を両立した情報基盤」について、さまざまなアプローチから検討が進められています。

本セッションでは、サービス開発・技術開発・制度設計の各面から、セキュリティ・プライバシー・サービスの結節点となる『IDマネジメント』に関する最新動向を展望します。

NC-09

■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月12日(水) 16:30~18:00

直流給電から始まる

データセンター電力マネジメント

It's HVDC! The First Step of Data-Center Energy Management

講師 Chair/ Speakers

Chair	三宅 功	エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社 代表取締役社長
Speakers	中平 浩二 村 文夫 藤井 康平	株式会社村田製作所 パワーモジュール商品事業部・第1商品部 部長 エヌ・ティ・ティ・データ先端技術株式会社 ソリューション事業部 HVDCグループ グループ長 日本アイ・ピー・エム株式会社 アライアンス事業 アドバイザリーアーキテクト

概要 Overview

2011年に発生した原発事故ともなう電力不足によって、これまでにないほど省エネ・節電が叫ばれています。大電力を必要とする「データセンター」も、その対象として例外ではありません。しかしデータセンターは、24時間365日、常時運転を目指さなければならぬ施設である上に、今後も需要が伸びていくものでもあります。このような中、データセンターにおける効果的な省エネ対策の一つに、「配電の直流比率の増加」があります。そこで本セッションでは、新設されるデータセンターでのその実例と効果について、関連する技術を交えつつご紹介いたします。

NC-10

■ 次世代データセンター / クラウド基盤
■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月12日(水) 16:30~18:00

SDNフェデレーションの実践的活用技術

The Practical Use of SDN and Federation

講師 Chair/ Speakers

Chair	伊勢 幸一	株式会社データホテル 情報環境技術研究室 執行役員室長
Speakers	高添 修 小松 康二	日本マイクロソフト株式会社 デベロッパー&プラットフォーム統括本部 エバンジェリスト ヴィエムウェア株式会社 ストラテジックアライアンス テクニカルアライアンスマネージャ

概要 Overview

仮想環境によって構築されるクラウド基盤の大規模化・マルチテナント化に伴い、ネットワークはより複雑化・多様化してきています。クラウドサービスには柔軟かつ敏速なリソースデプロイメントが求められますが、そのためには「コンピューティングリソースデプロイメント」と共に、「ネットワークコネクティビティ」や「トポロジー」「帯域」などをダイナミックにコントロールする必要があります。『SDN(Software Defined Network)』は、このような複雑かつ多様な形式を持つネットワーク層を抽象化し、他のリソースと連携運動させる『フェデレーション』へのアクセスインターフェースを提供する役割を担っています。そのような中、本セッションでは、クラウドシステムのフェデレーションにまつ『SDNによるネットワークの抽象化を如何に実現するべきか』『他のリソースとどの様に連携運動させるのか』という技術と事例・動向について、その導入を検討している方、クラウドフェデレーションに興味のある方、クラウドサービスの企画担当者やエンジニアの方に向けて議論します。

NC-11

■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月12日(水) 16:30~18:00

アナリストが見たネット産業の現状

Network Industry Situation: the Analysts' View

講師

Chair/ Speaker

Chair クロサカ タツヤ 株式会社企 代表取締役

Speaker 武田 純人 UBS証券株式会社
株式調査部 エグゼクティブディレクター

概要

Overview

インターネットやモバイルの発展に伴い、産業セクターとしての情報通信産業は多様化・複雑化してきています。昨今では事業機会を大きく獲得しているのは、メディア産業やコンテンツ産業も巻き込み、カテゴリーを乗り越えていくような形態です。

本セッションでは、こうした情報通信セクターを投資家の視点から常時ウォッチしている証券アナリストが、「ネット産業をどのように見ているのか」を紹介し、また「今後の成長が期待される分野やアプローチ」について展望します。

NC-12

■ 企業情報システム

6月13日(木) 12:50~14:20

トヨタが考える事業継続計画

Practical Business Continuity Management in TOYOTA

講師

Chair/ Speakers

Chair 野村 祐士 株式会社富士通研究所
クラウドコンピューティング研究センター 主任研究員Speakers 伊藤 毅 株式会社富士通総研
BCM事業部 執行役員
近藤 元博 トヨタ自動車株式会社
総合企画部 企画室 室長

概要

Overview

東日本大震災により注目されたBCP(事業継続計画)、およびDR(ディザスタ・リカバリ、災害復旧)。その後も、タイでの洪水、ハリケーンSandyなどさまざまな自然災害に直面した企業とそのICTシステムは、不測の事態に対して何を準備し、どのように乗り越えたか。また、過去の経験から見つかった問題点とその対策は何か。

本セッションでは『トヨタ』における具体的な実践事例をもとに、基本的な考え方や現場の取り組みを分かりやすく解説し、今後の方向性を明らかにします。

NC-13

■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月13日(木) 12:50~14:20

DNS Hot Topics

DNS Hot Topics

講師

Chair/ Speaker

Chair 松崎 吉伸 株式会社インターネットイニシアティブ
IJ ネットワーク本部 ネットワークサービス部 技術開発課
シニアエンジニアSpeaker 西岡 孟朗 NTTコム ソリューション&エンジニアリング株式会社
エンジニアリング事業部

竹田 茂馬 楽天株式会社

概要

Overview

DNSは、おもに「ホスト名に対応するIPアドレスを検索する名前解決」のために利用されており、インターネットに接続するほとんどの実装にその機能が組み込まれています。DNSが正常に動作していないと、「適切な接続先のIPアドレス」がわからなくなり、「いくら他のサービスが正常に動作していても、実際には利用できない」といったことも発生してしまいます。つまり、DNSはインターネットの重要なサービスであり、構成要素のそれぞれが協調して安定的に動作する必要があります。

環境や時代の変化から、DNSへの要求も変わってきました。安定的なサービスの提供はもちろん、より安全に利用できるようにとDNSSECの実装も徐々に進んできています。またDNSサーバは攻撃の踏台や対象にもなりうることから、これらへの対策も必要となっています。

本セッションでは、ISPが運用するDNSに関する最新状況を報告するとともに、新技術の導入や運用といった課題を整理します。

NC-14

■ 企業情報システム
■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月13日(木) 12:50~14:20

ビックデータの利活用の実際

Practical Utilization of Big Data

講師

Chair/ Speakers

Chair 砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授

Speakers 小間 基裕 ヤフー株式会社
事業戦略統括本部 データソリューション本部 本部長
當仲 寛哲 有限会社ユニバーサル・シェル・プログラミング研究所

概要

Overview

「ビックデータ」が世間の耳目を集めるようになってきました。しかし、具体的にどのように活用すればいいのかについてはいまだにあきらかになっていません。

ここでは、Yahoo!JAPANとUSP研究所を例に、その具体的な方策について紹介します。Yahoo!JAPANは言うまでもなく、日本最大級のユーザベースとデータトラフィックからの価値創出に取り組み続けてきたデータ利活用の老舗企業です。

ここで取り組まれているターゲティング広告やレコメンデーション、サイト最適化とそれらを支える大規模データ処理基幹技術について紹介します。

これらのサービスの基盤となるデータは、検索キーワードからEコマース関連データ、ソーシャルメディアまで非常に幅広くあります。

こうしたマルチビックデータを活かしてどのようなサービス・ビジネスが可能になるのか、いくつかの実践的挑戦を紹介します。

また、USP研究所はさまざまな流通業界や地方自治体などで情報を利活用する方策を実践しており、そこでの秘密を述べていただきます。

ここでは特に大がかりなシステムを利用することなく、手軽でわかりやすいシステムの構築と、明日からでも実戦可能なビックデータサービスとしてデモを交えて紹介します。

NC-15

■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月13日(木) 14:40~16:10

サーバにおけるSSD利用の実情と課題

SSD: Real Situations and Issues in a Server

講師 Chair/ Speakers

Chair	中澤 道治	さくらインターネット株式会社 企画部 リーダー
Speakers	渡辺 隆志 吉田 晃典	株式会社ミクシィ システム本部 運用部 部長 ミツパチワークス株式会社 技術部 ソフトウェアエンジニア

概要 Overview

PCサーバが普及する中で、「CPU」が高速化し「メモリ」が大容量化するなど、その性能面での向上が進んできました。しかし、「ストレージI/O」については未だにボトルネックを抱えており、大きな障壁になっています。

このブレイクスルーとして注目されているのが『SSD』であり、データベースやキャッシュなど、I/O負荷の高いサーバにおける採用が進んできました。その反面、「ハードディスクとは異なった特性を理解しないと、十分にその恩恵を受けられない」という課題もあり、導入を見送るケースも見られます。

本セッションにおいては、SSDを導入している事業者から、「改善できたこと」や「発生したトラブル」「各種ノウハウ」などを紹介し、運用の実績についてディスカッションします。

NC-17

■ セキュリティ

6月13日(木) 14:40~16:10

APTに対する情報共有と法の役割

APT Defence Strategy: Information Sharing and Role of Laws

講師 Speaker

Speaker	高橋 郁夫	BLT法律事務所
---------	-------	----------

概要 Overview

政府機関や著名企業に対する『APT(Advanced Persistent Threat)攻撃』などの執拗な攻撃が、国家レベルの脅威として認識されるようになりました。これらの攻撃は、組織化・巧妙化していることに加え、「キャンペーン」と呼ばれる一連の実行形態をとることから、防御にあたっては政府機関などの関係組織間での情報共有が重要視されています。しかしこの情報共有の実現に際しては、「どのような情報」が共有され、「どのように取り扱われるのか」といった点について検討する必要があります。また「米国大統領令における情報共有の考え方」など、諸外国における実際の状況について、十分な考察を進める必要もあります。

本セッションでは、APTなどの執拗な攻撃に対する国際的な情報共有を題材に、サイバーセキュリティにおける法的な枠組みについて考察します。

NC-16

■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ
■ 次世代データセンター / クラウド基盤
■ 企業情報システム

6月13日(木) 12:50~14:20

DevOpsとアジャイルで変わるインフラの現場

DevOps and Agile Adoption in an Infrastructure Team

講師 Speakers

Speakers	吉野 宗彦 土屋 太二	NECビッグロープ株式会社 サービス開発本部 主任 NECビッグロープ株式会社 基盤システム本部
----------	----------------	---

概要 Overview

インターネットのアプリケーション開発やシステム開発の現場では、『DevOps』の採用や『アジャイル開発』のスタイルが積極的に取り入れられるようになりました。

インフラを開発・運用するチームでも、このようなスタイルを取り入れることで、いままでは実現が難しかった短納期での開発・構築案件に対応できるようになってきました。さらに、これまでの業務のやり方を見直し、「実働メンバーを中心に据えたチーム作り」を実践することで、メンバーに強いモチベーションが生まれ、チームとして最高のパフォーマンスを引き出すことができました。

本セッションでは、「実際にBIGLOBEのインフラチームで取り組んで乗り越えた、課題および解決アプローチの方法」、および、実践事例としての「VXLANやOpenFlowを使ったネットワーク制御システムの開発時の状況」を紹介します。また、これらの解決アプローチとして利用したDevOps、アジャイルの基礎についても、あらためて扱います。さらに、「どういうケースで有効なのか」に触れるだけでなく、「適用が難しいケース」についてもあえて明らかにすることで、「インフラの現場が今後どのように変わっていくのか」を検証します。

NC-18

■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月13日(木) 14:40~16:10

インターネットトラフィック最新動向

Internet Traffic Nowadays

講師 Chair/ Speakers

Chair	永見 健一	株式会社インテック 研究開発部
Speakers	熊木 健二 人見 高史 福田 健介 福田 健平	KDDI株式会社 IPトランスポート技術部 コアネットワークグループ グループリーダー シスコシステムズ合同会社 IoTインキュベーションラボ テクニカルソリューションアーキテクト 大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 准教授 エヌ・ティ・ティ・コミュニケーションズ株式会社

概要 Overview

日本ではFTTHに代表されるブロードバンドインターネットの契約者数が約3,900万を超過、企業だけでなく一般家庭においても、インターネットは欠かせない情報通信インフラとなっています。

ユーザのインターネットの利用方法は、利用機器・利用アプリケーションの高度化とともに年々多様化しており、それに伴ってトラフィック量も変化してきています。

とくに、スマートフォンの普及により、モバイルユーザのトラフィック量は増大しており、2012年12月には、月間平均トラフィック量は、1年前の2倍になっています。

また、2012年6月には、『World IPv6 Launch』として、Google、Facebookなどの主要ウェブサイトがIPv6に恒久的に対応され、トラフィックの変化がおきています。

このようなトラフィックパターンの変化を客観的に把握するために、海外および国内のトラフィック量が測定されています。

本セッションでは、このような変わりつつある現状のインターネットのトラフィックパターンやアプリケーションを、(1)国内の固定トラフィック、(2)国内のモバイルトラフィック、(3)海外のトラフィックについて紹介します。

NC-19

■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月13日(木) 16:30~18:00

データセンターにおけるSSDの現状と未来

SSD: Present and Future into the Data Center

講師

Chair / Speakers

Chair	田中 邦裕	さくらインターネット株式会社 代表取締役社長
Speakers	田口 栄治	インテル株式会社 クラウド・コンピューティング事業本部 データセンター事業開発部 シニア・スペシャリスト
	長谷川 猛	フュージョン・アイオー株式会社 インターナショナルセールス APAC Japan ソリューションアーキテクト
	百富 正樹	株式会社東芝 セミコンダクター&ストレージ社 SSD技師長

概要

Overview

HDDに代わる新たな外部記憶装置として、『SSD』へ注目が集まっていますが、データセンターにおいても、「IO性能の向上」や「消費電力の低減」などを目的として採用例が徐々に増えてきました。

しかしながら、「書き込みに上限があったり」「データを大量に書き込んだときに性能が安定しなかったり」と、SSDならではの問題も認識されており、「まだ本格的な利用に踏み切れない」という声も少なくありません。

本セッションにおいては、「SSDを取り巻く現状」を共有するとともに、「信頼性の向上や安定性の確保のために各社が取り組んでいる技術的なアプローチ」について議論します。

NC-20

■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ
■ 次世代データセンター / クラウド基盤

6月13日(木) 16:30~18:00

イーサネット・ファブリック 2013

～OpenFlowって必要?～

Ethernet Fabric 2013 - Is OpenFlow really necessary? -

講師

Chair/ Speakers

Chair	本林 良太	日本電気株式会社 事業イノベーション戦略本部 マネージャー
Speakers	及川 尚 小宮 崇博	シスコシステムズ合同会社 プロケード コミュニケーションズ システムズ株式会社 Cloud Technology Office Cloud Technology Officer
	濤川 慎一	ジュニパーネットワークス株式会社

概要

Overview

ネットワークの仮想化技術として、OpenFlowがたいへんな注目を集めています。しかしサーバ間を跨る「分散仮想スイッチ」や、スイッチ間でのコントロールプレーンの共有による「バーチャルシャーシ」によれば、OpenFlowを用いずとも同等な仮想化は提供できます。また、エッジ・オーバーレイ方式(トンネル方式)のSDNに際し、ネットワーク・インフラとしてイーサネット・ファブリックの適用を求められることもあります。もしかしたらそのインフラのイーサネット・ファブリックだけで、十分に近いことができてもいいかもしれません。

そこで本セッションでは、「バーチャルシャーシ」を中心とする「イーサネット・ファブリック」に焦点を当て、「素のイーサネット・ファブリックでどこまで仮想化できるのか」「もしOpenFlowを適用すると何がかわるのか」「気に留めておくべき落とし穴はないのか」などについて、明確にしていきます。

NC-21

■ セキュリティ

6月13日(木) 16:30~18:00

こうしてセキュリティ事故は発生する

～Hardening プロジェクトで明らかになった運用の盲点～

So, Security Incident Occurs

- Blind Spots in Operation, Revealed by "Hardening Project" -

講師

Speakers

Speakers	岡田 良太郎	株式会社テックスタイル代表取締役 Web Application Security Forum 理事
	川口 洋 中西 克彦	株式会社ラック JSOC チーフエバンジェリスト NECネクサソリューションズ株式会社 技術開発事業部 マネージャー

概要

Overview

日々、追いつけないほどのセキュリティ脆弱性との戦い。そのような中でも、各社のビジネスを支えているのは「ウェブサイト」ではないでしょうか。しかし、さまざまな不正アクセス・システム障害・パフォーマンス問題、さらにウェブサイトに対する標的型攻撃が昼夜を問わず迫っており、ビジネスの遂行に直接的なダメージを与えてきます。「ウェブサイト」をビジネスの重要な基盤として有効活用するためには、これらの問題を解決するさまざまな製品やサービスを「運用」する能力が欠かせません。

しかし、セキュリティ製品・サービス・ソリューション・スキルのある人材を見出すのは、容易ではありません。そこで我々『Hardening Project』は、「守る力の顕在化」を行うための「ITシステムの総合運用能力を競うイベント」として、2012年に2回のイベント『Hardening Zero』『Hardening One』を敢行しました。

このイベントは、巨大仮想空間“StarBED”上に構築された仮想ECショップを題材として、セキュリティ攻撃に対応しながら、「ビジネスを止めずに」ショップの売上を最大化するという、多様な能力を駆使する競技です。

このセッションでは、『Hardening Zero』『Hardening One』で行われた競技の様子や参加者の声から、興味深い学びが得られた事例についてご紹介します。

NC-22

■ 次世代データセンター / クラウド基盤
■ キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月14日(金) 10:20~11:50

ファブリック対決、TRILL vs SPB

TRILL vs SPB: Ethernet Fabric Showdown

講師

Chair/ Speakers

Chair	伊勢 幸一	株式会社データホテル 情報環境技術研究室 執行役員室長
Speakers	小宮 崇博 服部 健一	プロケード コミュニケーションズ システムズ株式会社 Cloud Technology Office Cloud Technology Officer 日本アパイヤ株式会社 テクニカルオペレーションズ シニアシステムズエンジニア

概要

Overview

仮想化によって高密度化するコンピューティングリソースに対して、従来型の階層構造型イーサネットトポロジーでは、対応ができなくなってきています。とくに、大規模化・複雑化するクラウド基盤では、スイッチ間をメッシュ状に接続し、ブリッジループを回避しつつマルチパスを実現する『イーサネットファブリック技術』がもはや必要不可欠です。

現在ファブリック技術としては、IEEE802.1委員会による『SPB(Shortest Path Bridging)』と、IETFによる『TRILL(Transparent Interconnection of Lots of Links)』とが有力ですが、それぞれに長所短所があります。そこで本セッションでは、データセンター事業者やサーバインフラ/ネットワーク/クラウドサービスのエンジニアの方にわかりやすいよう、両者の機能特徴を簡単明瞭に比較し、実際に採用・導入する上での検討ポイントについて議論します。

NC-23

- IPv4 アドレス枯渇と IPv6 移行
- 次世代データセンター / クラウド基盤
- キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月14日(金) 10:20~11:50

データセンター事業者のIPv4枯渇がヤバ過ぎる点について
~1アドレス幾らで買いますか?~

Ending Story of IPv4 Exhaustion

講師 Coordinator / Chair / Speakers

Coordinator	仲西 亮子	三井情報株式会社 IPv4アドレス枯渇対応タスクフォース
	白畑 真	慶應義塾大学 政策・メディア研究科
Chair	近藤 邦昭	株式会社まほろば工房 代表取締役
Speakers	白畑 真	慶應義塾大学 政策・メディア研究科
	三上 出	株式会社メディアウオーズ 技術部 本部長
	水野 稔晴	中部テレコミュニケーション株式会社 サービスオペレーションセンター

概要 Overview

2011年4月のAPNIC/JPNICにおけるIPv4の通常在庫の枯渇から2年が経過し、一部のサービス事業者ではIPv4アドレスの調達が出来なくなっているなど、その影響が顕在化してきています。このような状況の中、いくつかの事業者では、これまでの地域インターネットレジストリ(RIR)からのアドレスの調達に代る方法として、「IPv4アドレス移転」による調達方法が活発化しつつあります。

この背景には、IPv4枯渇対策問題の根本的な解決策としての「IPv6の導入」を視野に入れつつも、「IPv4アドレスの調達なしには新規事業参入や既存事業の拡大が困難になっている」ことが挙げられます。このような状況を踏まえ、本セッションでは、「インターネット全体におけるIPv4アドレスの利用動向」「データセンターやクラウド、ホスティングなどの事業者における需要動向」「IPv4アドレス移転の動向」などのIPv4アドレスの枯渇状況を整理しつつ、ISPやデータセンター事業者の現状を探ります。その上で、現実的な「枯渇状況への今後の対応」と「IPv6との上手な付き合い方」について、ステークホルダーを交えて議論し、その実態に迫っていきます。

NC-25

- 次世代データセンター / クラウド基盤

6月14日(金) 10:20~11:50

帯域を使いまくる:ネットワークボトルネックの解消
(1)データセンター編

Bandwidth Bottleneck Elimination (1) - Data Center -

講師 Chair / Speakers

Chair	大江 将史	大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台 天文データセンター 助教
Speakers	早川 洋一	Chelsio株式会社 テクニカルスタッフ
	津村 英樹	メラノックス テクノロジーズ ジャパン株式会社 日本地区担当ジェネラルマネージャー
	兵頭 弘一	アリスタネットワークスジャパン合同会社 SEMネージャ

概要 Overview

ここ数年の間で、ネットワークの広帯域化がさらに進んできました。たとえばデータセンター内では、すでに10GbE/40GbE/100GbEといった帯域が手に入るようになってきました。しかしその恵まれた環境の割には、各種のアプリケーションの利活用が思ったように高速化されず、頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。一方、データセンターの外に目を向けると、回線費用の削減に直結しうる「WAN回線の利用率の向上」に取り組んでいる方も多いことでしょう。

そこでこのセッションは、「アクセラレーション技術全般の理解」が得られることを目標とし、まず「各種のアプリケーションが広帯域を利活用するうえでの課題」を共有し、それらの課題の解決技術とその効果・事例などを、包括的に整理・議論・評価します。

本『(1)データセンター編』では、データセンター内などの、「低遅延かつ10GbEを超える超広帯域におけるボトルネック」をテーマとして取り上げ、サーバプラットフォームにおける広帯域化のボトルネックとその克服策を探ります。

NC-24

- セキュリティ
- IoT / M2M / スマートグリッド / スマートコミュニティ

6月14日(金) 10:20~11:50

ネットワークからみた
制御システムセキュリティ

Network-Based Industry Control System Security

講師 Speakers

Speakers	小林 和真	倉敷芸術科学大学 経営情報学科 教授
	村瀬 一郎	技術研究組合制御システムセキュリティセンター 事務局長 株式会社三菱総合研究所 情報通信政策研究本部 副本部長

概要 Overview

これまで、制御システムセキュリティは計算機や制御システムの側面から検討が行われてきました。しかしながら、さらに検討が進むにつれ、ネットワークの側面からも課題や解決策が明らかになってきました。

本セッションでは、官民共同でのサイバーセキュリティ演習や制御システムセキュリティセンターでの取り組みをふまえ、ネットワークからみた制御システムセキュリティの課題と解決策について、当該分野の第一人者からお話しします。

NC-26

- キャリア / ISP / ネットワークインフラ
- 次世代データセンター / クラウド基盤
- 企業情報システム

6月14日(金) 12:50~14:20

成功するSDN導入のポイント

The Vital Point for Successful Introducing of SDN

講師 Speakers

Speakers	伊勢 幸一	株式会社データホテル 情報環境技術研究室 執行役員室長
	浅羽 登志也	株式会社ストラトスフィア 代表取締役社長

概要 Overview

『SDN』という概念は、OpenFlowの開発過程で生まれてきたことは事実ですが、いまやOpenFlowだけでなく、SDNは「さまざまなネットワークの仮想化とプログラマブルなネットワークの実現方式」として捉えられています。さらにSDNは、「ネットワークを動的かつ柔軟に再構成し制御する単なる手段」としてだけでなく、「ネットワーク上のコンピューティングリソースを有機的に結合する手段」として、オンプレミスシステム・データセンター・クラウド基盤への適用も検討されています。

そこで本セッションでは、とくにSDNのプロバイダー・開発者・導入に興味がある方に向け、「SDNの本質」を示すと同時に「実装例や導入事例」などを交えつつ、「SDNの導入が有効な環境」と「効果的な活用法」について議論します。

NC-27

- セキュリティ
- 企業情報システム
- スマートデバイス / モバイルインターネット

6月14日(金) 12:50~14:20

マルチデバイス・マルチストレージ時代のセキュリティ

講師 Speaker

Speaker 高橋 正和 日本マイクロソフト株式会社
チーフセキュリティアドバイザー

概要

スマートフォンやタブレットの普及に伴い、それらの個人での利用ばかりではなく、「BYOD」とも呼ばれるような、企業ネットワークの一部として利用するケースが増えてきています。くわえて、企業内ネットワークの一部としての「クラウド」の利用も進んでおり、メールサービスなどのクラウドへの移行や、記憶領域としての各種のクラウドサービスの利用も増えていきます。

一方、「標的型攻撃」や「APT(Advanced Persistent Threat)」に代表される攻撃手法の変化によって、「境界領域防御」と「アンチウイルス」を中心としたセキュリティ対策には限界が見えてきています。また、「多様なデバイスと記憶媒体が利用される中での情報漏えい対策」など、情報セキュリティに求められる新たな課題も少なくありません。

そこで本セッションでは、現状のセキュリティに関わる状況と課題とを俯瞰し、対策を進めるための構成要素について検討し、現在のセキュリティ対策における基本的な方向性とアーキテクチャーについて考察します。

NC-28

- セキュリティ
- 企業情報システム

6月14日(金) 12:50~14:20

業界TOP3のデスクトップ仮想化 (VDI)、その一歩先へ

Think About Beyond the VDI from Top 3 Vendor Strategy

講師 Chair/ Speakers

Chair 榎本 瑞樹 日商エレクトロニクス株式会社
マーケティング本部 部長

Speakers 高添 修 日本マイクロソフト株式会社
デベロッパー&プラットフォーム統括本部 エバンジェリスト

竹内 裕治 シトリックス・システムズ・ジャパン株式会社
テクノロジー&ソリューションズ シニアマネージャー

飯島 徹 ヴィエムウェア株式会社
EUCビジネス シニアパートナーマネージャー

概要

Overview

モバイル・デバイスの浸透とBYODの潮流に加え、企業のクライアント環境におけるデスクトップ仮想化 (VDI) は、キャズム*を越えメインストリームとなりつつあります。また企業の導入のモチベーションも、これまでの「情報漏洩対策(セキュリティ)」「コンプライアンス」「運用管理負荷の軽減」などの「守りのデスクトップ仮想化」から、「従業員の生産性向上」「ワークスタイルの改革」など戦略的IT投資としての「攻めのデスクトップ仮想化」へと変化しつつあり、さらなる脚光を浴びています。しかしながら、VDIの適用範囲が広がる中で、「運用管理」や「モバイル・デバイスにおけるセキュリティ面での課題」も浮き彫りになりつつあります。本セッションでは、VDIの実装・運用における課題を整理するとともに、業界TOP3ベンダーが提唱する最新デスクトップ仮想化テクノロジーの一歩先の世界を、デモンストラーションとパネルディスカッションを通じて体感します。

*chasm, 初期市場からメインストリーム市場への移行を阻害する深い溝

NC-29

- 企業情報システム
- キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月14日(金) 12:50~14:20

帯域を使いまくる: ネットワークボトルネックの解消 (2)WAN編

Bottleneck Elimination (2) - WAN -

講師 Chair/ Speakers

Chair 大江 将史 大学共同利用機関法人自然科学研究機構国立天文台
天文データセンター 助教

Speakers 水原 隆道 株式会社クリアリンクテクノロジー 代表取締役
寺前 滋人 リバーベッドテクノロジー株式会社
Systems Engineering, Japan Manager

小林 岳夫 ブルーコートシステムズ合同会社 SEディレクター

概要

ここ数年の間で、ネットワークの広帯域化がさらに進んできました。たとえばデータセンター内では、すでに10GbE/40GbE/100GbEといった帯域が手に入るようになっています。しかしその恵まれた環境の割には、各種のアプリケーションの利活用が思ったように高速化されず、頭を悩ませている方も多いのではないのでしょうか。一方、データセンターの外に目を向けると、回線費用の削減に直結しうる「WAN回線の利用効率の向上」に取り組んでいる方も多く見られます。そこでこのセッションは、「アクセラレーション技術全般の理解」が得られることを目標とし、まず「各種のアプリケーションが広帯域を利活用するうえでの課題」を共有し、それらの課題の解決技術とその効果・事例などを、包括的に整理・議論・評価します。本(2)WAN編では、広域ネットワークなどの「高遅延・広帯域」をテーマとして取り上げ、「ミドルボックス型によるアプローチ」の紹介とともに、ボトルネックの克服策を探ります。

NC-30

- 次世代データセンター / クラウド基盤
- キャリア / ISP / ネットワークインフラ
- 企業情報システム

6月14日(金) 14:40~16:10

何が違うの? ネットワーク仮想化技術: L3 NWへのオーバーレイ方式

Differentiator of Network Virtualization Technologies Using L3 Overlay

講師 Chair/ Speakers

Chair 早川 浩平 シスコシステムズ合同会社
システムズエンジニア ソリューションアーキテクト

Speakers 高添 修 日本マイクロソフト株式会社
デベロッパー&プラットフォーム統括本部 エバンジェリスト

進藤 資訓 ヴィエムウェア株式会社
ネットワーク&セキュリティ事業部 テクニカルリーダー

中本 滋之 シスコシステムズ合同会社
ソリューションズシステムズエンジニアリング
データセンターソリューション シニアシステムズエンジニア

概要

Overview

仮想化されたクラウド環境は加速度的に普及してきており、これらを支えるクラウド内でのネットワークの柔軟性や拡張性、さらにはマルチテナント機能も重要になってきています。それらを実現する技術として、ネットワーク仮想化技術の1つである「バーチャルオーバーレイ方式」があります。バーチャルオーバーレイ方式は、IPネットワーク上に仮想的にネットワークを構築できますので、既存のIPネットワークインフラを利用しながら柔軟性と拡張性のある仮想ネットワーク環境を構築することも可能です。しかし、市場には、バーチャルオーバーレイ方式を採用した技術やソリューションが数多くあり、導入を検討する場合に非常に困難を極めます。本セッションでは、仮想データセンター/クラウドシステムに関するネットワークを検討もしくは運用されている方、または、バーチャルオーバーレイの技術や方式の知識・技術動向を幅広く学びたい方にむけ、『VXLAN』『NVGRE』『STT』などの各方式の技術や方式の特徴や今後の展望を解説すると共に、ネットワークの設計や運用面も含め役立つ情報を説明します。

NC-31

- キャリア / ISP / ネットワークインフラ
- 企業情報システム
- スマートデバイス / モバイルインターネット

6月14日(金) 14:40~16:10

IPv6 Hot Topics 2013

IPv6 Hot Topics 2013

講師

Chair	江崎 浩	東京大学大学院 情報理工学系研究科 教授
Speakers	中村 修	慶應義塾大学 環境情報学部 教授
	鶴 昭博	KDDI株式会社 ネットワーク技術企画部 マネージャー
	天田 賢	A10ネットワークス株式会社 技術本部 日本・南APAC 本部長

概要

2012年6月の『World IPv6 Day』、2013年6月の『World IPv6 Launch』を経て、IPv6の導入と普及が全世界的に本格化してきました。日本においても、NGN上でのIPv6サービス導入の加速化に向けた活動が、『IPv6普及・高度化推進協議会』を中心に行われています。また、IPv6の普及の加速は、「インターネットサービスプロバイダでの対応」から、「企業網、クラウドプロバイダ、そして、スマートフォンを含むモバイル携帯網における対応」へとシフトしつつあります。

本セッションでは、キャリア網、企業網、スマートフォンなどのエンドターミナルにおける、IPv6導入の国内外の最新動向を展望します。

NC-32

- キャリア / ISP / ネットワークインフラ
- 企業情報システム

6月14日(金) 14:40~16:10

新政権の通信政策

ICT Policy by the New Administration

講師

Chair	クロサカ タツヤ	株式会社企 代表取締役
Speakers	橋本 岳	衆議院議員・自民党(予定)
	村井 純	慶應義塾大学 環境情報学部 学部長・教授
	谷脇 康彦	総務省 情報流通行政局 官房審議官(情報流通行政局担当)
	三又 裕生	経済産業省 商務情報政策局情報政策課 課長

概要

2012年12月の衆院選による、民主党から自民党への政権交代を受け、産業振興や電波行政など、情報通信政策には早くも変化が見られます。また2013年3月には、『IT戦略本部』で安倍首相から「データ立国」というビジョンが示されるなど、政府のIT戦略は大きな転換点を迎えています。折しも今年の『G8』では、議長国のイギリスが「オープンガバメント」をアジェンダに打ち出すなど、同分野での新たな動きが国際的にも活発化しています。

本セッションでは、こうした政策に直接携わる現役の議員を招いて、今後の情報通信政策の動向と、ネット産業への影響について討議します。

NC-33

- セキュリティ
- 次世代データセンター / クラウド基盤
- キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月14日(金) 14:40~16:10

クラウドの高信頼化にむけた運用・標準化・監査の現状

Toward Trustworthy Cloud: Actual State of Operation, Standardization and Audit

講師

Speakers	永宮 直史	特定非営利活動法人 日本セキュリティ監査協会 事務局長
	佳山 こうせつ	富士通株式会社 クラウドCERT室 アシスタントマネージャ
	河野 省二	株式会社ディアアイティ セキュリティサービス事業部 副事業部長

概要

近年、大手クラウドサービスでの事故をきっかけとして、「クラウドサービスにおけるリスク管理の重要性」が認識されつつあります。クラウド事業者においても、クラウドの高信頼化にむけた情報セキュリティ 管理策の整備をはじめ、さまざまな取り組みが行われています。また ISO/IECやCSA(クラウドセキュリティ・アライアンス)などでの国際標準化により、「クラウドサービスでのリスク管理や高信頼化への考え方」についても、コンセンサスの形成が進みつつあります。本セッションでは、「クラウドサービスの高信頼化にむけた最新の取り組み」について、運用・標準化・監査の観点からご紹介します。



SD-01

■スマートデバイス / モバイルインターネット
■企業情報システム

6月12日(水) 16:30~18:00

スマートデバイス企業内徹底活用術 2013

Benefits of Enterprise Use of Smart Devices 2013

講師 Chair/ Speakers

Chair	砂原 秀樹	慶應義塾大学大学院 メディアデザイン研究科 教授
Speakers	原田 圭悟	KDDI株式会社 ソリューション6部 部長
	松木 彰	株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 法人事業部 法人ビジネス戦略部 部長
	中山 五輪男	ソフトバンクモバイル株式会社 ソリューション推進統括部 首席エヴァンジェリスト

概要 Overview

企業におけるスマートデバイスの導入が、さまざまな業種業態で加速しています。たとえば内線電話・メール・グループウェアといった基本的な「コミュニケーションツール」としての役割から始めて、訪問・店舗での商品検索・プレゼンといった「営業支援」、在庫・進捗管理などの「業務システム」、あるいは「教育・トレーニング」として用いられている例もあります。

実際これらの導入後の企業においては、ワークスタイルの改善が図られ、売上げの向上や業務の改善が実現できています。いまやスマートデバイスは、企業の成長のための大きなファクターとして欠かさないものとなってきています。

そこで本セッションでは、企業において業務改革を推進している方の参考となるよう、効果の高いスマートデバイスの導入実事例について詳しく紹介します。

SD-02

■スマートデバイス / モバイルインターネット
■企業情報システム

6月13日(木) 14:40~16:10

進化するBYOD/MDM、ワークプレイスMAM

BYOD/MDM Evolution, Workplace and MAM

講師 Chair/ Speakers

Chair	木下 剛	シスコシステムズ合同会社 専務執行役員
Speakers	小玉 博和	株式会社アイキューブドシステムズ プロダクトマネジメント部 部長
	北村 裕司	サイバートラスト株式会社 取締役 最高技術責任者
	柳下 幹生	モバイルアイアン インク 販売担当副社長

概要 Overview

スマートデバイスを業務で活用する企業が増加しており、ビジネスにおけるiPhone・iPad、Androidデバイスの活用(社員への配布、個人所有デバイスの有効活用など)は、業務効率の改善・顧客満足度の向上・売上の拡大・ワークスタイルの変革などにおいて、大いに有効な手段となっています。

しかしながら、紛失や盗難などの情報漏洩リスク管理・アプリケーション利用制限・アクセス制限など、システム管理者にとっては悩みが多く、スマートデバイスを安全にビジネスで活用するためには、「利便性を確保しつつセキュリティを保つ対策」が不可欠となります。

本セッションでは、スマートデバイスの安心・安全な企業利用を手助けしてくれる管理ツールである『MDM(モバイルデバイス管理)』について、最近注目が集まっている『MAM(モバイルアプリケーション管理)』、『MCM(モバイルコンテンツ管理)』などの最新動向も含めて扱います。とくに、「BYOD・モバイルネットワークに関連する知識・技術動向を幅広く学ばれたい方」「サービス事業者様でBYODモバイルネットワークの設計・構築・運用を担当されている方」「ユーザ企業様、Sler様でITインフラの設計・構築・運用を担当されている方」などに向けて、今後のシステム設計や運用に役立つ情報をご提供します。

SD-03

■スマートデバイス / モバイルインターネット
■キャリア / ISP / ネットワークインフラ

6月13日(木) 16:30~18:00

モバイルトラフィックの最新状況と対策

Mobile Traffic Nowadays

講師 Chair/ Speakers

Chair	永見 健一	株式会社インテック 研究開発部
Speakers	熊木 健二	KDDI株式会社 IPトランスポート技術部 コアネットワークグループ グループリーダ
	福田 健介	大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構 国立情報学研究所 アーキテクチャ科学研究系 准教授
	北條 博史	エヌ・ティ・ティ・ブロードバンドプラットフォーム株式会社 サービス開発部 取締役 部長

概要 Overview

スマートフォンやタブレット端末などのモバイル端末の普及により、モバイルユーザのトラフィック量が急増しています。2012年12月には、月間平均トラフィック量が、1年前のトラフィック量の2倍にまで達しました。今後も、スマートフォン・タブレット端末の利用の拡大によって、モバイルトラフィックはさらに増大していくものと考えられます。

本セッションでは、モバイルトラフィックの現状を「通信事業者」および「モバイル端末」での計測の両面から紹介し、モバイルトラフィック増大の対策としての「無線LANを利用したオフロード」の現状や今後について議論していきます。

オープンルータコンペティション

聴講
無料

ORC

Open Router Competition

次世代のインターネットをつくりあげる技術者たちよ! 集え!

開催日時 / 6月12日(水) 14:30~17:00
開催場所 / 幕張メッセ国際会議場2F (201A)

名称 / Interop Tokyo 2013 特別企画
Open Router Competition(略称: ORC)(オープンルータ・コンペティション)
主催 / オープンルータ・コンペティション実行委員会
運営 / Interop Tokyo 2013 運営事務局 (株式会社ナノオプト・メディア 内)
特別協力 / Interop Tokyo 2013 ShowNet NOCチームメンバー

聴講無料

ゴールドスポンサー

NEC
NEC

FUJITSU
富士通(株)

基調講演 [会場] 国際会議場・コンベンションホール (2F)

K-01 6月12日(水) 10:30~11:10

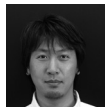
ICTイノベーションで未来を創造



吉田 和正
インテル コーポレーション
セールス&マーケティング 統括本部 副社長
兼
インテル株式会社 代表取締役社長

K-02 6月12日(水) 11:25-12:05

日本のSNSはどこに向かうのか ~3大ソーシャルメディアに間く、展望と戦略~



<パネリスト>
杉本 誠司
株式会社ニフゴ
代表取締役社長



<パネリスト>
藤本 真樹
グリー株式会社
取締役 執行役員常務
最高技術責任者 開発本部長



<パネリスト>
畑田 淳
LINE株式会社
執行役員



<モデレータ>
津田 大介
有限会社ネオローク
代表取締役社長
ジャーナリスト/メディア/アクティビスト

K-03 6月12日(水) 13:15-13:55

空間と情報の融合がもたらすインパクト ~ロケーションビジネスの今後を探る~



<パネリスト>
村井 純
慶應義塾大学 環境情報学部
学部長・教授



<モデレータ>
神武 直彦
ロケーションビジネスジャパン
実行委員長
慶應義塾大学大学院
システムデザイン・マネジメント研究科
准教授



<パネリスト>
柴崎 亮介
東京大学
空間情報科学研究センター教授

K-27 6月12日(水) 13:15-13:55

「SDN ShowCase スペシャルパネルディスカッション」



<パネリスト>
佃 昌宣
NTTコミュニケーションズ



<ゲスト>
関谷 勇司
東京大学
情報基盤センター
准教授



<パネリスト>
宮永 直樹
日本電気株式会社
企業ネットワーク事業部
シニアエキスパート



<モデレータ>
三木 泉
アイティメディア株式会社
ITインダストリー事業部
エグゼクティブエディター

K-04 6月12日(水) 14:20-15:00

SDNへの道:SDNによる革新を成功させる秘訣



ジョナサン・デビッドソン
ジュニパーネットワークス
キャンパス&データセンター・ビジネスユニット
シニア・バイス・プレジデント 兼 ジェネラルマネージャー

K-25 6月12日(水) 14:20-15:00

モバイル界に真のオープンを ~Firefox OS がもたらすもの~



瀧田 佐登子
一般社団法人 Mozilla Japan
代表理事

CS-03 6月12日(水) 15:15-15:55

最新オープンソース主導のクラウド、ネットワーキング



ペダー・ウランダー
Citrix Systems, Inc.
クラウドプラットフォーム グループ
プロダクトマーケティング バイスプレジデント

K-06 6月12日(水) 15:15-15:55

デジタルサイネージは4 K時代に突入へ



南 俊行
総務省
情報流通行政局
審議官



中村 伊知哉
慶應義塾大学大学院
メディアデザイン研究科 教授
デジタルサイネージコンソーシアム
理事長

K-07 6月12日(水) 17:00-17:40

【Interop Tokyo 開催20回記念特別対談】 Web of Human, Things and Data



ティム・バーナーズ=リー
ワールドワイドウェブコンソーシアム (W3C)
ディレクター



村井 純
慶應義塾大学
環境情報学部
学部長・教授

K-08 6月13日(木) 10:30~11:10

Tizen Association について



杉村 領一
NTTドコモ マーケティング部
担当部長 戦略アライアンス担当
Tizen Association Chairman

K-19 6月13日(木) 10:30~11:10

データセンターネットワーキングの未来が今ここに



マイク・パニック
Vice President, Global Marketing
HP Networking, Hewlett-Packard Company

K-09 6月13日(木) 11:25-12:05

拡大する交通系デジタルサイネージ



<スピーカー>
山本 孝
株式会社ジェイアール東日本企画
交通媒体本部 交通メディア開発局
局長



<スピーカー>
土屋 樹一
株式会社ジェイアール西日本コミュニケーションズ
交通メディア本部 開発部
担当部長



<スピーカー>
小菅 智彦
株式会社メトロアド エージェンシー
媒体本部 媒体第2局長



<モデレータ>
江口 靖二
デジタルメディアコンサルタント
デジタルサイネージコンソーシアム常務理事

K-23 6月13日(木) 11:25-12:05

日本のインターネットの20年とこれから



鈴木 幸一
株式会社インターネットイニシアティブ
代表取締役社長

聴講 無料 Webからの事前登録制

同時通訳(English Speaker)
英語での講演には、同時通訳をご用意します

K-10 6月13日(木) 12:20-13:00

これからのファーストスクリーンはどれだ!?~Miracastの衝撃~

上瀬 千春
株式会社フジテレビジョン
技術開発局 主席研究員竹井 良彦
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社
要素開発グループ 第三チーム 主任技師野中 亮吾
パナソニックモバイルコミュニケーションズ株式会社
商品開発グループ 企画担当課長

K-24 6月13日(木) 12:20-13:00

高度なサイバー攻撃に対抗するための、
次世代脅威プロテクションの必要性エンリケ・T・セラム
FireEye, Inc.
取締役会メンバー

K-11 6月13日(木) 13:15-13:55

Internet of Everything—すべてはインターネットにつながる

木下 剛
シスコシステムズ合同会社
専務執行役員

CS-06 6月13日(木) 13:15-13:55

~新しいワークスタイルがすぐそこに~
15万社の企業に愛用されるセキュアな
ファイルシェアリングサービス BOXとは?カレン・アップルトン
ボックス社
グローバル・アライアンス、シニア・バイス・プレジデント

K-12 6月13日(木) 14:20-15:00

SDNの本質と将来

<スピーカー>
デイヴ・メイヤー
プロケード・コミュニケーションズ・システムズ・インク
サービス・プロバイダ部門
SPチーフ・テクノロジー・オフィサー (CTO) & チーフ・サイエンティスト<スピーカー>
江崎 浩
東京大学大学院
情報理工学系研究科 教授<モデレータ>
藤原 洋
株式会社インターネット総合研究所
代表取締役所長 最高経営責任者

K-13 6月13日(木) 15:15-15:55

オープン・ネットワーキング・ファウンデーション:過去、現在、そして未来

ダン・ピット
オープン・ネットワーキング・ファウンデーション
エグゼクティブディレクター

K-26 6月13日(木) 15:15-15:55

準天頂衛星システムの推進について

西本 淳哉
内閣府宇宙戦略室長

K-14 6月13日(木) 16:10-16:50

クラウド時代におけるファウエイの次世代データ・センター・
ソリューション~データセンターの現状と展望~細井 洋一
華為技術日本株式会社
法人ビジネス事業本部
ビジネスディベロップメント本部長 兼 エグゼクティブ・アドバイザー

K-15 6月14日(金) 10:30~11:10

インテリジェント サイネージ
~オムニチャネル戦略構築の鍵~ギョーム エステガシー
日本マイクロソフト株式会社
Windows Embedded Business
ビジネスグループリード<ゲスト>
ギョム・ブル
SCALA株式会社
取締役社長 / Far East Asia VP<ゲスト>
藤岡 忠昭
日本電気株式会社
SI・サービス統括ユニット
SI・サービス市場開発本部
マイクロソフトソリューション推進グループ
主席主幹

K-17 6月14日(金) 12:20-13:00

ONFスペシャルセッション(仮)

関根 尚
エヌ・シー・エル・コミュニケーション株式会社
代表取締役社長
クロス・ヘッド株式会社 常務取締役

K-16 6月14日(金) 11:25-12:05

ネットワーク仮想化:
Software-Defined Data Centerの実現のためのステップマーティン・カサド
VMware, Inc.
チーフアーキテクト、ネットワーク担当

CS-13 6月14日(金) 13:15-13:55

オープンクラウドプラットフォーム
「Windows Azure」とマイクロソフトのクラウド戦略梅田 成二
日本マイクロソフト株式会社
サーバープラットフォームビジネス本部
業務執行役員本部長

CS-14 6月14日(金) 14:20-15:00

NTTコミュニケーションズの
OpenFlow/SDNの取り組みと今後の展望伊藤 幸夫
NTTコミュニケーションズ
サービス基盤部 部長

CS-15 6月14日(金) 15:15-15:55

物理、仮想、クラウド、混在時代の情報資産の守り方

大田原 忠雄
トレンドマイクロ株式会社
エンタープライズマーケティング部 部長代行

※本ガイド記載情報は2013年5月31日現在のものであり、内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

DSJ2013
Digital Signage Japan
デジタルサイネージ ジャパン

IMC TOKYO
2013
Interop Media Convergence

**Location
Business
Japan 2013**

セミナー Seminar

聴講無料



DSJ2013
Digital Signage Japan
デジタルサイネージ ジャパン

[会場] 国際会議場 2F

ROOM 201B

最新事例、クリエイティブ、アプリ連携などサイネージビジネス次へのヒントを探る充実のプログラム

DSJ-01	6月12日(水) / 11:20-12:05	DSJ-02	6月12日(水) / 13:00-13:45	DSJ-03	6月12日(水) / 14:00-14:45	DSJ-04	6月12日(水) / 16:15-17:00
<p>その場にいるユーザーの「共振」を促すサイネージ設計を考える</p> <p><Chair> 川村 行治 株式会社インセクト・マイクロエージェンシー</p> <p><Speakers> 跡部 徹 株式会社空気読み 小磯 敦 楽天株式会社 長津 孝輔 株式会社カドベヤ</p>		<p>災害時におけるデジタルサイネージの役割</p> <p><Chair> 江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント</p> <p><Speakers> 岡本 樹生 総務省 山本 孝 株式会社ジェイアール東日本企画</p>	<p>加速するデジタルサイネージのWeb化</p> <p><Chair> 川添 雄彦 日本電信電話株式会社</p> <p><Speakers> 羽田野 太巳 株式会社ニューフォリア 岡本 樹生 総務省 吉田 弘 株式会社博報堂DYメディアパートナーズ 榎堀 武 株式会社日立製作所</p>	<p>放送局とデジタルサイネージの向き合いについて考える</p> <p><Speakers> 齊藤 浩史 株式会社毎日放送 江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント</p>			
<p>ABC Cooking Studioにおける新たな料理スタイル実現に向けての挑戦</p> <p><Chair> 伊能 美和子 NTTドコモ</p> <p><Speakers> モントゴメリー道緒 株式会社ABC Cooking Studio 福岡 大志 株式会社ABC Cooking Studio 田中 恵美子 株式会社ABC Cooking Studio</p>	<p>DSJ-05 6月13日(木) / 10:20-11:05</p>	<p>DSJ-06 6月13日(木) / 13:00-13:45</p> <p>海外デジタルサイネージと日本</p> <p><Speaker> 野原 久男 株式会社ビデオリサーチ</p>	<p>DSJ-11 6月13日(木) / 14:00-14:45</p> <p>バスキュールの事例に学ぶテレビ X スマートデバイス X ソーシャルの魅力</p> <p><Speaker> 西村 真里子 株式会社バスキュール</p>	<p>DSJ-08 6月13日(木) / 15:00-15:45</p> <p>藤沢ちよいち香みフェスティバルの事例からみた地域型スクリーンメディアとして連携するサイネージ活用のヒント</p> <p><Chair> 川村 行治 株式会社インセクト・マイクロエージェンシー</p> <p><Speakers> 小林 剛輔 ふじさわちよいち香みフェスティバル 木村 海月 ふじさわちよいち香みフェスティバル 西田 慎太郎 ふじさわちよいち香みフェスティバル 赤津 直紀 株式会社ロケッコ 諸星 千鶴 株式会社湘南よみうり新聞社</p>			
<p>DSJ-09 6月13日(木) / 16:00-16:45</p> <p>グランフロント大阪のデジタルサイネージサイネージ</p> <p><Chair> 江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント</p> <p><Speakers> 明壁 佳久 一般社団法人グランフロント大阪TMO 船橋 俊一 グランフロント大阪開発事業者 小口 泰史 メルセデス・ベンツ日本株式会社</p>	<p>DSJ-10 6月14日(金) / 10:20-11:05</p> <p>地方発!コンテンツ力で勝負するデジタルサイネージ~博多ラーメンチェーン、産直市場のゲンバが掴んだ顧客の心~</p> <p><Speakers> 池田 博 株式会社アメイジングポケット 中庄司 秀一 株式会社ココファーム</p>	<p>DSJ-07 6月14日(金) / 11:25-12:05</p> <p>ローカル情報コミュニケーションのあるべき姿 新橋における風俗情報提供サービス(デジタルサイネージも含む)「町の情報ステーション THUMB UP(サムアップ)」</p> <p><Chair> 江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント</p> <p><Speaker> 中口 昭雄 株式会社ウェブダッシュ</p>	<p>DSJ-12 6月14日(金) / 13:00-13:45</p> <p>ロケーションに合ったデジタルサイネージの表現・コンテンツ</p> <p><Chair> 吉田 勝広 株式会社オリコム</p> <p><Speakers> 多田 周平 株式会社ニューフォリア 毛塚 牧人 株式会社メディアコンテンツファクトリー 新館 俊輔 日本情報流通株式会社</p>				
<p>DSJ-13 6月14日(金) / 14:00-14:45</p> <p>インタラクティブサイネージの現在と未来</p> <p><Chair> 吉田 勝広 株式会社オリコム</p> <p><Speakers> 飛田 幹司 株式会社ITTOCAN 畔田 公夫 株式会社日テレアクセス 中田 翔 株式会社フロンティアワークス</p>	<p>DSJ-14 6月14日(金) / 15:00-15:45</p> <p>プロジェクションマッピングにおける現状と今後</p> <p><Speaker> 釣井 省吾 株式会社タケナカ</p>	<p>DSJ-15 6月14日(金) / 16:00-16:45</p> <p>デジタルサイネージフリートーク 「デジタルサイネージは沈滞してるのか考えてみた」</p> <p><Chair> 江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント</p> <p><Speakers> 川田 宏之 株式会社 映像新聞社 佃 直幸 シャープ株式会社 荒野 幸一 株式会社フジミック</p>	<p>川村 行治 株式会社インセクト・マイクロエージェンシー 手老 善 株式会社ジェイアール東日本企画</p>				

スマートTV、ソーシャル連携、最新映像技術やシステムなど、デジタルメディア関係者必見のプログラム

IMC-01	6月12日(水) / 11:20 - 12:05	IMC-02	6月12日(水) / 13:00-13:45	IMC-03	6月12日(水) / 14:00-14:45	IMC-04	6月12日(水) / 15:00-15:45
日本のテレビはどこに向かうのか ~本音で語るスマートテレビ、ソーシャルテレビ、 ダブルスクリーン視聴。テレビのこれからとテレビとは何か?~ <Speakers> 安藤 聖泰 日本テレビ放送網株式会社 鈴木 祐司 日本放送協会 江口 靖二 デジタルメディアコンサルタント 川森 雅仁 NTTサービスイノベーション総合研究所	ソーシャルとテレビは結婚するのか? ~TBSテレビが描く セカンドスクリーン戦略~ <Speaker> 柳内 啓司 株式会社TBSテレビ	「放送と通信の融合」から、 ソーシャルとテレビの融合へ ~ソーシャルテレビとは何か? なぜ取り組むのか?~ <Speaker> 安藤 聖泰 日本テレビ放送網株式会社	みんなで使う テレビ連動アプリプラットフォーム 「メディアトリガー」の概要とその運用例 <Speakers> 岡村 智之 株式会社フジテレビジョン 鈴木 徹 株式会社テレビ静岡 服部 弘之 東京メトロポリタンテレビジョン株式会社 木村 好信 株式会社フジテレビジョン				
IMC-05 6月12日(水) / 16:00-16:45 米国のスマートテレビの状況と Flingoが提供するSamba TVサービス <Speaker> 脇山 弘敏 Flingo	IMC-06 6月13日(木) / 10:20-11:05 ケーブルTVの最新技術動向 <Speaker> 松本 修一 一般社団法人日本ケーブルラボ	IMC-07 6月13日(木) / 11:20-12:05 “マル研”が目指す 放送通信連携サービス <Speaker> 齊藤 浩史 株式会社毎日放送					
IMC-09 6月13日(木) / 14:00-14:45 UltraHD時代へ向かう デジタルメディア・産業・文化 <Speakers> 中村 秀治 株式会社三菱総合研究所 元橋 圭哉 IMC Tokyo 2013実行委員 / 次世代放送推進フォーラム事務局	IMC-10 6月13日(木) / 15:00-15:45 ハイブリッドキャスト技術仕様が目指す 放送通信連携サービスの推進 ~次世代スマートテレビへの新たな取り組み~ <Speakers> 本間 康文 一般社団法人IPTVフォーラム 藤沢 寛 一般社団法人IPTVフォーラム	IMC-11 6月13日(木) / 16:00-16:45 安心・安全と多様なメディア展開 <Speakers> 今川 拓郎 総務省 東川 玲 兵庫県 元橋 圭哉 IMC Tokyo 2013実行委員 / 次世代放送推進フォーラム 菅取 啓志 株式会社メディアプラットフォームラボ / 株式会社radico	IMC-12 6月14日(金) / 11:25-12:05 超高齢社会×ICT、 日本モデルを世界へ <Speakers> 谷脇 康彦 総務省 中村 秀治 株式会社三菱総合研究所				
IMC-13 6月14日(金) / 13:00-13:45 マルチスクリーンが作り出す 新しい視聴体験と連携技術 <Speaker> 上原 千佳 株式会社プラトイーズ	IMC-14 6月14日(金) / 14:00-14:45 セカンドスクリーンを実現する メディア認識・コンテンツ識別技術(前編) ~モバイル動画透かし技術によるメディア連携~ <Speaker> 筒口 拳 NTTメディアインテリジェンス研究所	IMC-15 6月14日(金) / 15:00-15:45 セカンドスクリーンを実現する メディア認識・コンテンツ識別技術(後編) ~ロバストメディア探索技術によるコンテンツ特定~ <Speaker> 柏野 邦夫 NTTコミュニケーション科学基礎研究所					

「最新技術」と、「サービスと表現」、「プライバシー」など、広がるロケーションビジネスへの期待と懸念を共有し、すべての解決策を一望するプログラム

LBJ-01	6月12日(水) / 10:20-11:05	LBJ-02	6月12日(水) / 11:20-12:05	LBJ-03	6月12日(水) / 14:00-15:30	LBJ-04	6月12日(水) / 15:45-16:30
ITSに見る個人情報の取り扱いと活用 <Chair> 砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 <Speaker> 佐藤 雅明 Interactive and Digital Media Institute(IDM) National University of Singapore	実用化が進む準天頂衛星システムへの期待 <Chair> 武藤 勝彦 独立行政法人 宇宙航空研究開発機構(JAXA) <Speakers> 村井 善幸 準天頂衛星システムサービス株式会社 敷村 朝生 北海道ジェイ・アール・サイバネット株式会社 松岡 繁 一般財団法人衛星測位利用推進センター	国内外で活発化する オープンデータの動きと地理空間情報 <Chair> 坂下 哲也 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 <Speakers> 岡田 武 経済産業省 高橋 陽一 インテリコ株式会社 三木 浩平 千葉市 福野 泰介 株式会社jig.jp	情報銀行:あなたの「情報」を預けて 活用してみませんか? <Chair> 砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 <Speaker> 柴崎 亮介 東京大学				
LBJ-05 6月12日(水) / 17:00-17:45 スマートフォンへとシフトをはじめた 新しいITSの姿 <Speakers> 時津 直樹 インターネットITS協議会 中川 昌平 株式会社ソリトンシステムズ 本丸 勝也 リベラ株式会社	LBJ-06 6月13日(木) / 10:20-12:00 オープンストリートマップ・ ビジネスワークショップ <Speaker> 古橋 大地 マップコンシェルジュ株式会社	LBJ-07 6月13日(木) / 13:00-13:45 スマートフォン時代の地理空間情報の 品質確保のあり方 <Chair> 坂下 哲也 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 <Speakers> 小林 慎太郎 野村総合研究所 村田 岳彦 ヤフー株式会社 高田 洋平 高田法律事務所	LBJ-08 6月13日(木) / 14:00-14:45 街づくりとロケーション事例紹介 <Speakers> 関 治之 Georepublic Japan 鈴木 淳一 株式会社電通国際情報サービス(1S1D) 羽鳥 達也 株式会社日建設計 川村 行治 株式会社インセクト・マイクロエージェンシー				
LBJ-09 6月13日(木) / 15:00-15:45 日常消費領域における O2Oビジネスへの取り組みと事例 <Speaker> 牛田 圭一 株式会社リクルートライフスタイル	LBJ-10 6月13日(木) / 16:00-16:45 生活者視点のロケーションビジネスを 生み出すサービスのデザイン <Speakers> 宮田 正秀 株式会社SIIIS 武山 政直 慶應義塾大学/ サービスデザインネットワーク・ジャパン発起人	LBJ-11 6月14日(金) / 10:20-12:00 プライバシー情報の利活用と保護: 地理空間情報の観点から <Chair> 坂下 哲也 一般財団法人 日本情報経済社会推進協会 <Speakers> クロサカ タツヤ 株式会社企 原田 俊 デジタル・アドバタイジング・コンソーシアム株式会社 本村 陽一 産業技術総合研究所	LBJ-12 6月14日(金) / 13:10-14:45 各種屋内測位技術/ 位置サービスの共存共栄 <Chair> 春山 真一郎 慶應義塾大学大学院 <Speakers> 塩野崎 敦 クウジツ株式会社 近藤 剛介 パナソニック株式会社 斎藤 剛 株式会社エヌ・ティ・ティ・ドコモ 石井 真 測位衛星技術株式会社				
LBJ-13 6月14日(金) / 15:00-15:45 Lisra: 位置情報を活用した 新しい社会構築へ向けて <Chair> 砂原 秀樹 慶應義塾大学大学院 <Speaker> 河口 信夫 名古屋大学							

※本ガイド記載情報は2013年5月31日現在のものであり、内容は予告なく変更される場合があります。あらかじめご了承ください。

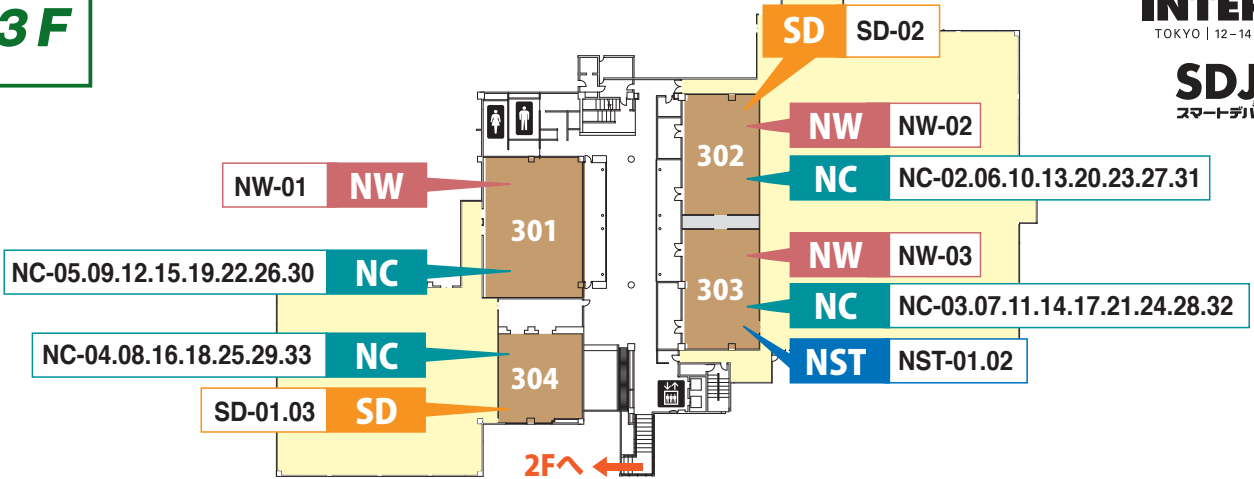
国際会議場内 MAP

各セッションの会場はP2~3タイムテーブルをご確認ください。

3F

INTEROP
TOKYO | 12-14 JUNE, 2013

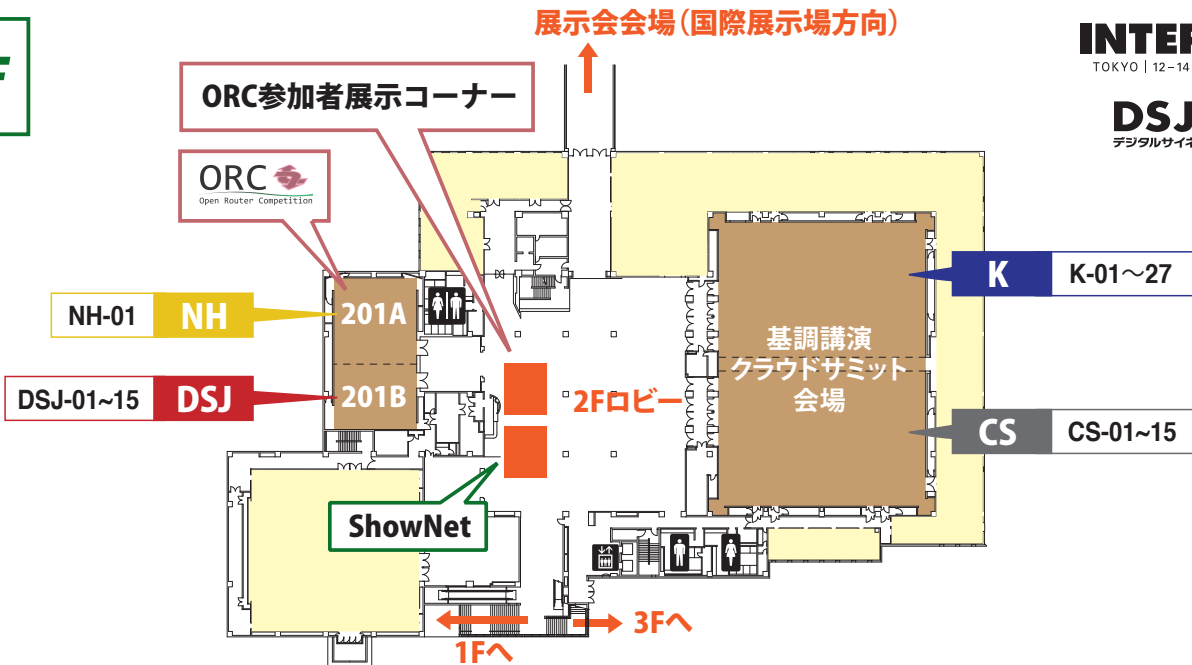
SDJ2013
Smart Device Japan
スマートデバイスジャパン



2F

INTEROP
TOKYO | 12-14 JUNE, 2013

DSJ2013
Digital Storage Japan
デジタルストレージジャパン

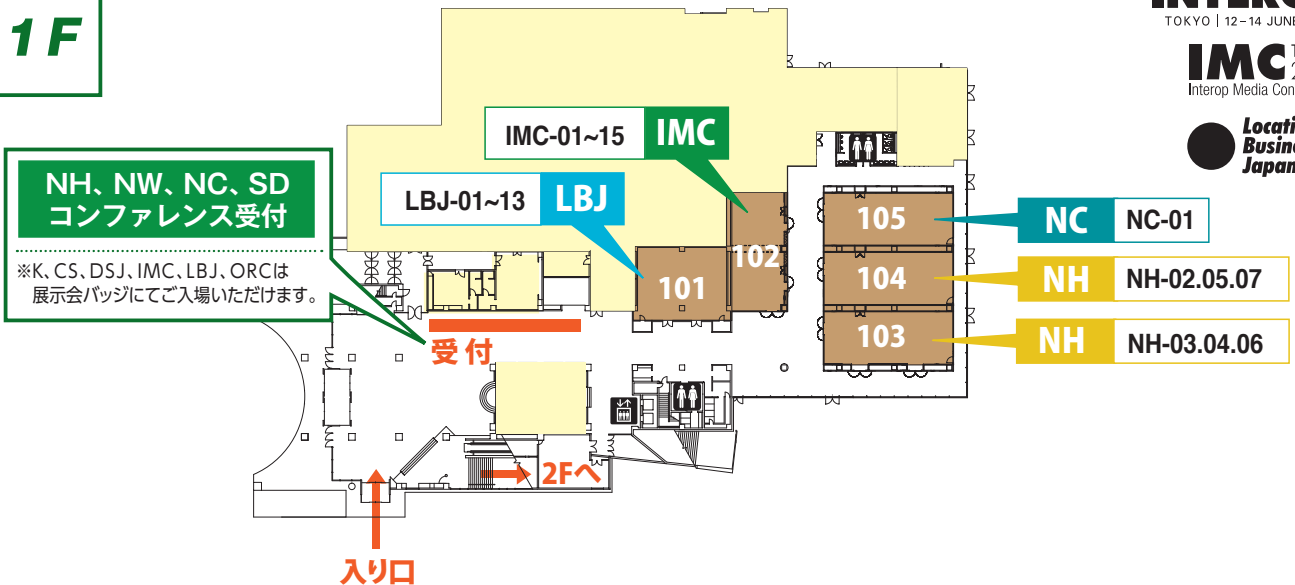


1F

INTEROP
TOKYO | 12-14 JUNE, 2013

IMC TOKYO 2013
Interop Media Convergence

Location Business Japan 2013



NH、NW、NC、SD
コンファレンス受付

※K、CS、DSJ、IMC、LBJ、ORCは
展示会バッジにてご入場いただけます。